

【密着低音囁き】妖狐の術で凶悪絶倫クソデカチンチンに
させられながらドスケベ骨抜き搾精で大量射精する話

【トラックリスト】

01・チンチンを大きくしてくれる話って本当ですか
(出会い、誘惑)

02・10cm→13cm【第壹の妖術、体の成長促進で本来の大きさをへ
(指パッチンで成長、手コキ、耳ふー、耳舐め、射精寸止め)

03・16cm→21cm【第貳の妖術、チンキスで
(チンキスで成長、手コキ、フェラ、口内射精、ごっくん、ゲップ
お掃除フェラで強制回復、手コキゴム出し)

04・【睡眠中】第参の妖術、寝ている間に淫紋をこっそり刻んで成長にバフ
(オナニー、オホ声、潮吹き)

05・30cm→46cm→67cm【
寝ている間に成長したチンチンを観測しながら丹念にねぶり、大量射精
(淫紋と睡眠で成長、ベロチューで成長、金玉膨張、
亀頭の段差5cm化、心情代弁、パイズリ、亀頭フェラ、ゲップ、
ぶっかけ、コンドーム射精たくさん)

06・67cm→98cm【第肆の妖術、触手オナホさんで特大射精
(コンドーム精液ごっくん、ゲップ、触手オナホ生成、尿道に入って成長、
玉舐め、乳首カリカリ、精液ぶっぱ、強制回復、全身ぶっかけ)

07・【限界突破！1m越え】秘伝の滋養強壮バッグン妖力団子で暴走チンチンに！
わからせ種付けピストンで妖狐をオナホ化♡
(チンポ暴走、発情まんこ丸見え開脚、オホ声、スパンキング、潮吹き、
大量中出し、抜かずに射精、挿入しながらチンポ増大、精液即生産、
大量ぶっかけ、精液逆流噴射、オナホ宣言)

おまけ・御子柴泉様フリートーク 3分

1 キャラクター設定

2
3 名前 出雲(いずも)
4 祀られている神社 亭亭神社
5 種族…妖狐
6 人間の精力を搾り取って摂取することで千年以上生きている
7 一人称が「妾」
8

9 性格・能力
10 妖艶な雰囲気を漂わせるが結構素の反応として笑ったり驚いたり、
11 感情豊かに話してくれる。面白いことが好きなのかも。
12

13 強い漢に屈服したいというマゾの側面も併せ持つ。
14

15 性技に自信があり、数々の男をたぶらかし、骨抜きにしている。
16 妖術として「男のチンチンをデカくする」能力を持つ。
17

18 顔のタイプ…お姉さん系優しいけどイジワルに責めてくる甘サドな淫らな雰囲気
19 肉体年齢…20代前半
20 体型…グラマラスで爆乳、お腹は太っているように見えない程度にムチムチ。
21 164cmのバスト118cm、ウエスト69cm、ヒップ102cm。
22

23 髪型…ショート
24 髪色…明るい狐色
25 陰毛…無し。
26

27
28 服装…白い和服、巫女服に近い。恥部はお札で隠している。
29

30 アクセサリー…狐の獣耳が生えてモフモフしてる。
31

32 男性器の呼び方…『マラ』や『おちんぽ』、『おちんちん』と定めていない。
33 その時エロく聴こえる言い方で言うのが好きらしい。
34
35

01・『チンチンを大きくしてくれる話って本当ですか』

【後ろ・普通】

（石階段を昇って主人公が柏手を打つと、妖狐が後ろから声だけで話しかけてくる）

ほおう…？お主…、こんな辺鄙^{へんぴ}な地の神社まで来よってご苦労なコトよ…。

ああつと、後ろを見ても妾^{わらわ}はそこにはおらんぞ？

【前・普通】

（男の前方にふっと姿を現す）

…よつと。フン、人前に姿を見せるのは久しぶりじゃな…。

おや…、カカwそないに怖気づく出ないwお主が妾を呼んだんじやろうてw

ずいっと人など来^こんからなあ、

お主で誰かに会うのは百^{ゆう}を優に超える年月ぶりかのお。

人里から随分と離れたトコじゃからのお、

参拝客などだくれも来なくてなあ、寂しい想いをしとったで？

して…、何用じゃお主は？

迷っていたらこんな地まで辿り着いたワケではあるまい？

いや、理由など既に顔に書いてあったな…。

2 【前・至近距離】

3 (息を大きく吸い込んでから、艶かしく)

4 妾にお主のおちんぽを…ながあく、ぶっとおしく…、

5 ぐつつぐつに煮えたぎった子種を…

6 どぴゅ…どっぴゅうう…びゆるる…ぼっぴゅん…っと…♡

7 まんこから溢れるほど何度射精しても萎えることのない、

8 おなご 女子泣かせの絶倫にして欲しいんじやろ…♡

9 (…まで)

11 【前・普通】

12 かははっw やはりか？w そうであろう そうであろうw

13 なあに顔を赤くせんでもええよおw

14 妾のもとまでやって来る者は大概マラに纏^{まっ}わる理由で来よる。

15 その昔ここに迷い込んで来た者が居たんじやがな、

16 そやつと夜伽を過ごすことになってのお

17 脱いでみたらなかなかのモノを持っていたんじや。

18 妾は強い雄に目が無くてな、強き者がより強くなるのが好きでのお。

19 なんてな、そのマラをより大きくしたろうと妖術を使うたんじや。

23 【右・至近距離】

1 (少しゆっくり話す、光悦した雰囲気)

2 そしたらのお…♡

3 馬の様に長あく、豚の様に精子を吐き出せる

4 人のマラとは思えぬ最っ高のマラとなったんじゃ…♡

5 (ここまで)

6
7 **【前・普通】**

8 そうして稀に来る人間を丸め込むを続けてたらな、

9 ぽつりぽつりと同じようにして欲しいと願ってくる者が来^きよるようになったんじゃ。

10
11 お主が誰からこの妾の存在、妖術の事を訊いたかは存ぜぬが、

12 ここまでよくその足で歩いてきたんじゃ、

13 マラを強くするという願い、しっかりと叶えてやるぞ…♡

14
15 フフン、尊ばれるのは悪い気持ちはせんなあ。

16 久方ぶりの来客じゃ、存分に力を奮ってやろう…♡

17
18 ほれ、本殿に入るぞ。

19 妾以外には誰も居らんからの、かしこまる必要はないぞ。

20
21 それとも…、この青空の下で行為に及んだり、

22 巫女に見られながら良かったか？w

1

2 **【前・少し離れる】**

3 カカカッ W 冗談に決まっておろう W

4

【前・普通】

さて、始めるかの。

…と言ってもな、今まで数人の巨根化をしてきてじゃな、

まずはマラに成長を促すように体を慣らしておくことから始めるんじゃ。

ム…、そうか言つとらんかったか。

成長させるのはな、幾日かに分けて行うんじゃ。

過去にな、一日で三尺程…ああ、百センチほど大きくしたことがあるんじゃがな、
体が追っ付かなくなってな、貧血でぶっ倒れてもうたんじゃ。

だから最初は少しずつ、体が妖力に順応してきたらグングン大きくしてやろう♡

楽しみじゃのお…お主が立派なマラで酒池肉林の如く

女を犯し尽くすようにできるのがのお…♡クククッw

そういえば、お主はどのぐらいの大きさの巨根になりたいんじゃ？

こっちも加減をして成長させることはできるぞ？

…いけるとこまでとな！w カカカッw それは良い返事じゃのお！w

ふう…、してお主よ、

お主は何故大きくしたいのか聴かせておくれよ。
なにゆえ

1
2 …ほお、自分のマラが他の人と比べて小さい、とな？

3 お主のおゝ…、おなご はべたくさんの女子を侍らせたいからとか、

4 みつげつ蜜月の仲である女をよがり狂わせたいからとかじゃないのかあ？

5
6 …ほ？ イカせるなら妾のような女の方が良い…とな？

7 カカツw世辞はよせw 悪い気はせんがのお…w

8 よしつ、妾に任せたまえ、お主が満足するまで幾らでも大きくしてやろう…♡

9
10 ほれほれ、じゃあ妖術をかけてやるから、さっさと脱げ脱げ♡

11
12 おや…まだ半勃ちといったところか？

13 しょうがないのお…。

14
15 **【右・至近距離】**

16 (優しく耳に吐息でふーふーしながら囁くように勃起煽り)

17 すう…ハア…♡ふー…♡

18 どうじゃ…さっさと勃たせたらどうなんじゃ…？

19 ほれ…妾の体温を肌で感じながら…尻尾の匂いでも嗅ぐか…？

20 すん…すん…と、あまゝい匂いが脳ミソまでこびりつくように匂いを感じて…

21 お主のおちんぽが、ムク…ムク…と大きくなっていくとこ、妾に見せろ…♡

22 (いじめど)

2 【正面・至近距離】

3 (嬉しそうな声で、囁きながら)

4 おお…♡ピンと上を向いて勃起しているじゃないか…♡

5 フフフ…よいか？今からこのサイズのおちんぽとはお別れじゃ…。

6 これからお主の頭よりも大きなおちんぽになって…

7 どくっ♡どくっ♡と、どれだけ出しても止まらない射精を味わえる…

8 最強のおちんぽになるんじゃないかな…♡

9

10 ほれ、お主のおちんぽを握ると…

11 亀頭がちよっぴり出るぐらいじゃが…

12 クククッw 今から妾の妖術を見せてやろう…。

13

14 (少し力を溜めてから指パッチン、あまり力む感じではない)

15 ん…っ……しよっ♪

16

17 おっ、始まったのお♡

18 お主のおちんぽ、どんどん熱くなってるぞ♡

19 体をビクビクと跳ねさせながら、おちんぽがビキビキと大きくなってるぞ♡

20 くくくっw あっ、あっ♡と可愛い声を漏らしおって…♡

21 ほら見よ♡さっきまで全部は見れなかった亀頭が、

22 妾の手に収まらずに顔を見せるほど大きくなったじゃないか♡

1 成長収まったの、フム。3センチ：は、大きくなったかの。

2 良いか？コレがお主の本来のおちんぽの大きさじゃ♡

3 ちゃんと精のつくものを食べたりしてたら

4 これぐらいには妾が術を使わずともなれたんじゃぞ…♡

5 カカカツ♡これから毎日、毎日ずっとお主のマラを成長させ続けて、

6 本来の大きさよりもずーっと大きなマラにしてやるがのお♡

7 さて、大きくしただけでは終わらんぞ？

8 ここからは明日のための事前準備…♡

12
13 **【右・至近距離】**

14 (右耳を舐め始める、ねっとり囁くように)

15 んぁ…れろお、んむう♡れるれる、ちゅむ♡ちゅっちゅちゅ…ぷぁ♡

16 はぁ…っ…っ♡妾の妖力をお前に流し込んで…

17 寝ている間にぐっぐつと精子を製造させて…♡

18 おちんぽに巡る血流が良くなってバキバキと大きくなっていくんじゃ…♡

19 んー、れろれろお…れりゅ、んむっ、れろおっ…♡ぺろっ、ちゅばぁ♡

20 そして、大ツ量の精子を妾に飲ませろ…♡んっ…はぁ……♡

21 んれろおっ…、んっ、ちゅばぁ、ぺろおれろお、れりゅっ…♡

22 そのぎつとぎとに濃ゆくなった精子で…妾の妖力をより強くするんじゃ…♡

1 くすくすくす…♡ああ、楽しみじゃのお…♡

2
3 (ここから手コキも始める)

4 ム…どうした…？ずっと握っているおちんぽをビクビクと震わして…♡

5 カカ…ツwなんじゃ？射精したくてしようがなさそうじゃなあ…？♡

6
7 ほら、しゝこ、しゝこっ♡しゝこ、しゝこ、しゝこお…♡

8 カリ首を…ちゅこ♡ちゅっこちゅこちゅこちゅこ、ちゅっこお…♡

9
10 (男の低い喘ぎ声代弁)

11 あっ♡あっあっあっ♡おおお…♡ああ…：んふう♡はああ…ああ…：んっ♡

12 これ無理っ♡我慢できないっ、精子出したいっ♡ハッハッハッハッ♡んっふ♡

13 (いゝまで)

14
15 カカカッ…w今にもイキそうじゃのお♡

16 れろっ、れるれるっ…ちゅむ♡ちゅちゅちゅっちゅ♡ぷあ♡

17 しこ…しこ…っ♡どんどん精子が尿道を登って行くなあ♡

18 よいか？今後お主のおちんぽが成長するたびに精子が鈴口から飛び出すまでの

19 距離が長くなっていくんじゃ…♡

20 その分…尿道を、ゾリゾリゾリ♡と精子が押し広げる快感を味わうんじゃ…♡

21 んちゅ…れろ、んーれりよ、れろれろ…♡れるれる、れろ、ちゅむ♡

22 精子も濃っゆゝい固形のダメとなって出てくるからあ…♡

1 相っ当な気持ち良さでえ…腰がガクガクとなって立てなくなるかもなあ…♡

2
3 かかかっ…w未知の快感に興奮しとるなあ…♡

4 んん…♡ちゅこ、ちゅこちゅこちゅこ♡ちゅっこちゅこちゅこ♡

5 ほら、出すか？出そうか？♡精子があがってきて…

6 我慢汁もどぶ、どぶっ…♡と漏れ出てるぞ…♡

7 ほら、手でシゴく速度を速めて…

8
9 (男の低い喘ぎ声代弁)

10 あっあっ♡ダメだ、もう出るっ♡濃厚な精子がこみあげてきてっ♡

11 おちんぽをぶるんぶるん震わせるようなすっごい勢いの出るっ♡

12 あああっあっあっ♡我慢無理♡いくいくいく♡

13 (いっまで)

14
15 【正面・至近距離】

16 ん…く…く…wダメ、じゃ♡

17 その玉袋に作った精子は、もっと濃厚にできる♡だから今日はお預けじゃ…♡

18 明日人生で一番の…いや、並大抵の人間は味わえぬ、

19 極っ上の射精をその身に味わわせてやろう…♡

20
21 カカカツw泣きそうな顔をしておるのお…♡

22 愛いのお愛いのお…♡

1
2
【正面・普通】

3 今日はまだ寝ろっ、寝ている間にもそのマラはどんどんデカくなるぞっ♡

4 おっと…勿論、寝ている間に自慰などしてはならんかな？

5 なんだったら術でシゴけなくしても良いが…、

6 お主は約束…守れるじゃろ？ カカカカ…ツw

7

8

【正面・普通】

ム…、よお。よく眠れたか？

カカカw マラがムズムズしててんで寝られなかったって顔じゃなw

よいかお主？

これからお主は毎日のように金玉にどっぷりと精子を作って

マラに血を巡らせて怒張させて朝を迎えるんじゃないぞ。

精力が絶大に増したお主じゃとな、

寝ている間に悶々として目覚めが悪くなってしまう。

だから前日にどれだけ性を吐き出せておけるかが重要になるんじゃない。

ホントは昨日のように寸止めするのは良くないんじゃないが…、

昨日のは金玉の容量を増やす必要があつてな、

あえて金玉にミッチミチに精子を作らせておいたんじゃない♪

そうするとお主の今の体は精子を作った分を入れる容量が無くなったから

より入れられるように精巢が膨張し、体が適応してな、

通常より多くの精子を吐き出せるようになるんじゃない？♡

1 フツ、昨日寝る前に我慢した分だけこれから腰が抜けるような射精ができるんじゃない。
2 今日の夜を楽しみに待って…

3
4 **【正面・近い】**

5 (抱き着かれて少しだけ鬱陶しさも感じるけど、実は嬉しさも含むぐらいの感情)
6 …おい其方、^{そち}妾の体にしがみつくてない。
7 そんな獣のように腰を押し付けおって…♡
8 夜まで待てぬか？ 節操の無い…いや、
9 妾が理想としている性欲お化けと成ったか？w
10 その種袋で煮詰まった濃厚孕ませ汁、
11 今すぐに吐き出させてくれと顔に書いてあるな♡w
12
13

14
15 **【右・近い】**

16 (耳元で囁くように)
17 フフンw 仕方ないのお…♡ その怒張したマラ…朝から骨抜きにしてやろう…♡
18 じっくりと…空っぽになるまで…な♡
19

20
21 **【右・近い】**

22 (尻尾を振っていたため「喜んでる？」と指摘される)
23 …んん？ おおそんなに尻尾を振っておったか？ カカw
24 久しぶりに精を貪れるんじゃない♡ 妾も嬉しくなって
25 ほれほれ、さっさと床の間に行くぞ♡

1
2 【正面・近い】

3 (SE 襖を閉める音)

4 さて……。 フw我慢できぬと鼻息を荒くせんでもよいぞw

5
6 (布団に腰を下ろす妖狐)

7 よいせつ…。ではお主、そのズボンを破いてしまいそうな程勃起させているマラ、
8 妾に見せてみよ。

9
10 (男のズボンを下ろす)

11 オオッ…。♡ まだ成長させ始めたばかりじゃが、

12 よもや一晚寝ただけで昨日から見違えるように大きくなっているじゃないか♡

13
14 フム……。大体また3センチは大きくなったんじゃないか？

15 今は16センチぐらいじゃな。

16
17 カカカw 寝ている間に昨日大きくした分また成長しているではないかw

18 このまま一週間も経たない内に50は優に超えそうじゃな…。よいよい♡

19 若い人間は成長が目覚ましいのお♡

20
21 それにしても…。このおちんぽ…

22 血管が浮き始めて膣をゾリゾリと擦るのに適した造形になってきたのお…。♡

1 カリ首も段差が出来ているではないか♡ここはいじめがいがありそうじゃ…♡
2 竿だけではなく、玉も随分とでっぷりと太って…♡
3 どれだけ射精できてしまうか、楽しみよのお…♡

4
5 カカカ：w ちと寄らんか♡妾にマラを突き付けるようにしろ♡
6 よしよし…、では…。

7
8 (ちんぽにキス)
9 んっ……ちゅ♡

10
11 ほれ、妾からのチューじゃ♡嬉しろう？w
12 しかもちんキスじゃぞ、好きじゃろ？w

13
14 しかし妾がやったのはただのキスじゃあないぞ…♡
15 カカツw ほれ、なんだか熱くなってきたんじゃないか…♡
16 昨日のようにまた始まるぞ…♡

17
18 【右耳・近い】
19 (ゆっくりと囁くように)

20 どくんどくと脈を打って、
21 体中の熱がちんぽに集まり背中に快感がスーッと駆け巡っていくじゃろ…♡
22

1 あっ…あっ…♡ ぞくぞく止まらない…♡
2 はぁー、はぁー♡ 息が落ち着かない♡
3 ぐつぐつ♡ 全身の血液が沸騰するように熱い…♡
4
5 カカカツ…w ちんぽ、ぶるんぶるん震わして…♡
6 足腰がまるで生まれたての小鹿のようじゃぞ…♡
7
8 亀頭のエラがぐぐぐ…♡と張って…♡
9 竿がバキバキと太く、長あ…くなってるぞ…♡
10
11 ほれ、意識を飛ばしたらいかんぞ。辛抱しろっ♡
12 男らしく気張っていればよりちんぽへの血流が良くなるから耐えろ♡
13
14 血液がぜ…んぶ下半身に集まって、ちんぽをビキビキと大きくさせながら
15 金玉に精子をどっくんどっくんと作れ…♡
16
17 **【正面・近い】**
18 (囁きを止めて、 ゆったりと喋る)
19 ん…♡ 成長、落ち着いたな。
20 肩で呼吸するほど疲れたか？ くくくw
21 ほれ♡ 見てみよお主のおちんぽ♡ また大きくなってるぞ
22 今度は5センチは大きくなったんじゃないか…？すごいのお…♡

1 よく頑張ったが…ここからお主にはこのでつかあゝくなったおちんぽで…

2
3 **【右耳・近い】**

4 (囁き)

5 射精…♡ してもらうぞ…♡

6
7 **【正面・近い】**

8 (囁きを止めて、 ゆったりと喋る)

9 ほら見ろ…♡ 妾の両の手でお主のマラを握っても、

10 竿が長くて亀頭が顔を見せるほど大きくなったぞ…♡

11
12 このまま指輪っかを作って…♡

13
14 **【右耳・近い】**

15 (囁き、 ゆったりと喋りますが、 男の心情代弁する時は通常ゝ少し早めで)

16 ちゅこちゅこちゅこ♡ 亀頭をねちっこくしごいてやろう♡

17 クククw 少しずつ快感を強くしていつてより精子を熟成してやるからな…♡

18 ちゅこちゅこ、 ちゅこちゅこちゅこお♡

19
20 (心情代弁)

21 あっ、 あっあっ♡ あ、くぅ…♡ 金玉熱くなってくる♡

22 ぐつぐつと精子茹でられて、 本気で女を孕ませるつつよい精子作ってる♡

1
2 ふう、う…、んあ♡ 敏感なトコ擦られて、ちんぽ跳ねるう…♡
3 射精欲こみ上げてくるう…♡

4 尿道をぞりぞりぞり…ってぶっとい精子が、

5 ちんぽ長くなった分ゾリゾリ擦りながらこみ上げてくるう…♡

6 (いっけい)

7
8 ふふふ…w ちゅっこちゅっこお…♡ ああ…、はあ……♡

9 まだまだお主のマラはどんどん長くなるんだからな…

10 精子が尿道を掻き分けていく快感もどんどん長い時間味わうことになるんだ…

11 脳ミソがおかしくなってしまうやもしれんな♡

12
13 くく…w カリ首の段差がこ…んなに高くなって…気持ちよさそうじゃなあ♡

14 快感強すぎてキツイのお…だがまだ刺激を与え始めたばかりじゃ、

15 もうしばし耐えてから、どっっ…ぴゅう…♡っと、特大射精キメようぞ♡

16
17 ほれ、キツイなら妾のおっぱいを触ってても良いぞ？

18 でっかくて柔らかいからの、たふたと下から重量感を味わってると

19 気持ち安らぐじゃろ？ 手、こっちに寄せよ♡

20
21 んっ…♡ あ…♡ んん…ふ…♡ いいぞ…♡

22 妾の体あったかいじゃろ…♡

1 ちんぽ気持ち良くしながら、手からも温もり感じて気持ち良くなるんじゃ…♡
2
3 ふっ…あ、んっ…♡ 手つき優しいのお…♡ 紳士じゃな♡
4 妾はこれから、お主に優しくできないがのお…♡

6 **【正面・近い】**

7 (囁きと手コキを止めて、ゆったりと喋る)

8 カカカw そんな驚いた顔するでないw
9 別に意地悪して射精させないワケではないぞ？

10
11 妾はな、精から妖力を得ることが出来るんじゃ。

12 お主を雄として強靱な精力を持つようにし取るのも、
13 ただの善意でやっとするワケじゃないぞ。

14
15 うむ…あれじゃ、ぎぶあんどていく、ういんういんじゃ。

16
17 お主から出された濃厚な子種汁を妾が飲む…浴びる…蜜壺に注ぐとな…

18 より強い妖力を得られるんじゃ…♡

19
20 つまりな、お主に妾の妖術をかけ、強い精液が出せるようにし、

21 妾がその強い精液を頂き更に強力な妖力でお主に力を使うと繰り返していき…

22 より長くて太い最強の神殺しマラに仕上げられる…

1 一生続くマラ成長輪廻じゃ♡

3 【右耳・近い】

4 (ススス…と近づきながら囁くように語り掛ける)

5 ではお主…その溜まりに溜まった精液を…

6 妾に飲ませてくれるか…？♡ くくく…♡

7 お主のマラをぜ〜んぶ啜えて…舌で舐り、喉でうねり、

8 吐き出された精液をぜ〜んぶ受け止めて胃に落とし込んで糧としてやるぞ…♡

10 今すぐにも射精してしまいそうじゃのう…♡

11 もう少しの辛抱じゃ、無駄撃ちなんかせずに耐えておくれよ…♡

12 じゅるり…♡どれだけ美味しくなったか楽しみじゃ…♡

14 【正面・近い】

15 (男の足元に移動し、チンポの前に座る)

16 ほお…、目の前にあると迫力があるのお。

17 ワシの顔とトントン…少しお主のが大きいかの。

18 あす明日には誰が見ても凌駕する大きさになるじゃろうなあ…♡

20 (男のちんぽをしゃぶり始める)

21 では…♡ はあ〜…♡…♡ むっ♡

22 んじゅる、ぶぽ、じゅぽ、んっ、じゅっぶじゅぽ、んん♡

1 んぐっ、じゅっ、じゅぷじゅぷ、んっ、じゅぽ、じゅっぽじゅっぽ♡
2 じゅるるるる……るっ♡ ぷぁ♡ ふう…おっきい…♡ くくくw

4 (一度ちんぽから口を離し、「じょ！」で勢いよく咥える)

5 射精したくなったら言うんじゃぞ♡

6 喉奥にオス臭い極上のぷりぷり精子吐き出すんじゃ…じょ！

7 ぐぶっ♡ んぶうう♡じゅる、むぢゅう♡

8 じゅるっ…ぐぽっ、ずず…っ…ずぞぞ…っ…♡

9 ん、ふう♡ ちゅる、ぁ♡ んん…♡ れろれろお……♡

11 はぶっ♡じゅりゅりゅう…♡れろお、れるるお…れええ……♡

12 んれえ、ちゅっ♡ちゅ、んむう♡んぢゅるう…♡

14 (フェラ激しめ、咥えながら喋る)

15 ぶじゅるる、じゅぷぷ…♡んぶっ、んっ、じゅぶうっ♡

16 んじゅっぽっ♡ぐぽっ、ぐぽっ♡んぢゅううっ♡っぷはぁっ♡

17 どうじゃ？精子でほうか？ いいぞ♡イケ♡そのまま我慢せずに全部射精しろ♡

19 じゅぽ、じゅぷ♡んー♡ じゅるるる、じゅぽじゅぽじゅっぽ♡

20 んふ♡ぐじゅっ♡むう♡じゅるっぷ♡じゅっ、ずぞぞ……♡

22 んぶう♡チンポ、膨らんでるぞ♡

1
2 んぐう♡じゅぽっ、じゅぽっ♡ ん んゝ♡んじゅっぽっ♡
3 れおっ♡ぢゅっ、ぢゅうっ…♡れろっ♡ んごっ…♡ぶぽっ♡
4 んっ んっ♡ んっゝ♡ だせっ、だせっ♡

5
6 じゅるる…じゅぷぷぷっ♡ 全部飲んでやろう♡はようイケッ♡

7 限界勃起チンポからっ♡フーツ、フーツ♡ぶっ濃いがたくさんひり射精せっ…！♡
8

9 ぐじゅるる、んっ♡んぐっ♡ぢゅっぢゅっ♡ぶぽっ♡

10 ぐぼっ、ぐぽっ、んぐう♡ぢゅっぢゅっ♡むじゅるる♡

11 んっ、ぢゅっ、ぢゅ、ぢゅうううう♡♡

12

13 (射精、口の中に思いつきり吐き出される、鼻息多め)

14 んごっ♡んぐうっ♡んっ、 ん んっ♡♡

15 んっ、んんんーっ♡んぶうっ♡んぶっふ♡んぐっ♡

16

17 んごっく、んぎゅっ、んぐっ♡ん ん んっ♡ んむっ♡

18 んフー…♡んん…んぶっ♡ っ…んうう…♡ フー…♡

19 んぶっ…んふー…♡ ん、ん…♡ ぷあ…♡

20

21 【右耳・近い】

22 (男の耳元に移動し、嬉しそうに精子を呑む音を聴かせる)

1 んっふふふ…w んっ…んくっ…ごくっ♡ん、ごきゅ、フッ♡ごっくん♡
2 ぷああ…♡ カカカ…wすっごい量じゃったのお…♡

3 精子がダメになってて、呑むのが大変じゃったわ♡

4 しかも…すんすん…えっぐい匂いじゃ…♡

5 オスの強い匂いに脳が満たされて、誰でもお主のメスに堕ちてしまいうじや♡

6

7 (不意にこみ上げ、特大ゲップ)

8 んっぷ…、ん…、ぐっ、ごええ…ッッ♡

9 すまっ…ん、ゲエエ…ッッ♡ けぷっ…♡ んふう…♡

10

11 はあっ、はあっ…♡ちと…油断しとった…♡

12 満たされたのは脳だけじゃなく、胃もじゃったかのお…♡ カカ…w

13

14 ムッ…、おやおや…♡

15 お主よ…♡妾のゲップを聴いて…今射精したばかりだと言うのに…

16 血管ビキビキに勃起♡しているではないか…♡

17

18 んふっ、妖力たっぷりの精子を呑んだからのお…

19 ほれ、お主の金玉に…そらっ♡

20

21 クククw 体アツイか？w

22 今射精した分の精子を再度金玉に生成させてやったんじゃ♡

1 妾の眼には映っておるぞ、

2 お主の精巣がウジャウジャと精子を量産しているのを…♡

3
4 その絶倫チンポ…妾がもう一度沈めてやろう…♡

5 今の快感をもう一度味わって、気を飛ばすでないぞ…♡

6
7 **【正面・近い】**

8 **（男の足元に移動し、チンポの前に座る）**

9 射精させる前に…ひとつ、頼みがあるんじゃないか？

10 お主の射精量を調べさせて欲しいんじゃない。

11 今後成長しながらどれだけ増えていくかが気になってるんじゃないが、

12 このコンドーム…とやらの射精しておくれ。

13
14 ほ…w お主も気になるかw それはありがたいのお♡

15 では早速…♡

16
17 しゅるしゅるしゅるしゅる…♡ 手慣れたモノじゃろ♡

18 こうやって素早くゴムを着けるとイイ女だと訊いたんでな、練習したんじゃない♡

19
20 …なんじゃその困った顔は。

21
22 まあ良いわい、今はじっくりとまたお主を妾の手でイジめ倒したい気分じゃ♡

1 覚悟せよ…♡むふふ…♡

2
3 【右耳・近い】

4 (男の耳元に移動し、ぽしよぽしよと囁きながら手コキする、マゾいじめ)

5 ほおら…ちよっと話している間に我慢汁垂らして…♡

6 こんなずっしりと重たいマラと金玉…♡オスとして強い性欲…♡

7 早く射精させろって金玉煮えたぎらせてるイライラおちんぽ…♡

8 妾がヌキヌキして鎮めてやろう…♡

9
10 (手コキ開始)

11 ふう…♡ 妾の体にしがみつきながら、おちんぽしごかれて…

12 かつこよくびゅうびゅうといっちばん気持ち良い射精しような…♡

13
14 シコシコシコシコ…♡ にっちゅにっちゅ♡

15 射精しなくなったらいつでも吐き出すんじゃぞ…♡

16 ゴムの中にどっぷんどっぷんと吐き出して、

17 他の人間には負けない優越感たっぷりに精液撒き散らせ…♡

18
19 ククク…w おちんぽの血管をバキバキと浮き上がらせて、

20 まぐわっている時のように硬くして…♡

21 金玉もドクドクと鳴らしておる…♡

22

1 (吐息荒くしながら男の心情代弁)

2 あっ、あっ♡ハッハッハッ♡

3 チンポに精子登ってくる…尿道ゾリゾリと濃い精子が広げながら、
4 びゅるるるるるる…ってすごい長い射精したいい…♡

5
6 妖狐の手コキでイクっ、ちんぽでつかくしながらイクっ♡

7 ふっ、ふっ、もっとシゴけっ♡ザーメンぶひらせろっ♡

8 べっとり濃ゆい精子、どひひらせろっ♡

9 (いっけい)

10
11 カカカ…w 幾らでもどひひらせてやるから安心しろっ♡

12 明日にもまた、今日以上の射精を体験できるんだ…♡

13 自分の頭をゆうに超えるチンポから、天井を突き破るような強烈な射精をし、
14 匂いだけでその場にいるメスを孕ませる精子を大量に撒き散らすんじゃ…♡

15
16 シコシコたまらないの♡ エッロい妖狐に犯されるの好き♡

17 しつこい快楽責めに精子搾り取られちゃう…♡

18 ねっばねばの麺のように固形となったくっさい精子でるう♡

19
20 竿をシゴかれ、腰が浮いてぞくぞくとした快感が駆け巡って、

21 ずろろろろ…って精子登ってくる♡ 媚び媚び手コキで精子ぶちまけろっ♡

22 長い長い脈動で、奥の精巣から根こそぎ全部捻り出せっ♡

1 クク…w もうイキそうな顔しておるのお…♡
2 ほら、妾の目を見ながらイケ♡じっと妾も見ていてやる♡
3 だせっ、だせっ♡ だ…っせっ♡ イケ、イケッ♡
4 ほおら…、びゅっ、びゅっ、びゅう…っ♡
5 ぶっ、りゅうううう…♡ぶびゅびゅびゅっ♡
6 どっふんどっふん♡ びゅっぷ♡ びゆるるる…♡
7
8 ああ、ああっ♡あ、あ、あっ♡幸せっ、まだでるっ♡ 射精止まらないっ♡
9 イクイクイクっ♡ う、う…っ♡
10
11 すごいのお…♡まだ出ておる…♡
12 ゴムがどんどん水風船のように膨らみ続けておるぞ…♡
13
14 ぶぴっ♡ぶぴぴぴっ♡ びゅっぷう…っ…♡
15 どっびゅうう…びゅっ、びゅうう……、どっ…ぷんっ♡
16
17 極楽じゃったのお…♡ いつまでもずっと浸りたくなる強烈な快樂…♡
18
19 脳が蕩けるような射精の快感を味わってバカになってしまっそうじゃ…♡
20
21
22

1 それに見よ…♡ このどっぷりと膨らんだコンドーム…♡

2 全部お主の精子じゃぞ…♡ これを呑んだらどれだけの妖力が得られるか…♡

3 っっ♡ しかも明日はこれより射精できるんじゃない♡楽しみよのお♡

4

5 ムツ…気を失うなと言ったが…寝とる…。 ふうん…♡

6

04・『睡眠中』第参の妖術、寝ている間に淫紋をこっそり刻んで、
こっそりオナニー』

【正面・普通】

（眠っている男を寝室に運んでいる、独り言のように喋る）

全く…、大量の射精ができるのは良いが…、

その後ぐーすか寝てしまつては…体力の方が射精量に伴ってないのかのお…。

（布団の上に寝かせる）

よっ……、ふー…。

うむ…。ズボンは…まあ履かせなくても良いか…。

この寝ている間にまた成長してでかくなるんじゃないな。

それにしても…気持ちよさそうに寝ておるのお…w

意識を失うほど射精した後でも健やかに寝られるものなんじゃない…。

よい具合に体が疲れたんで、

気持ちよく意識を蕩けさせることができるんじゃないろうか…。

（あくび）

くあ……あ。 …んむ、妾も寝ようかの。

まだ起きたばかりじゃが…、寝たい時に寝るのが一番幸せじゃ。

1 【左耳・近い】

2 (男の布団の横に入る)

3 失礼するじゃよう…つと。

4 ふんむ…、ん…。

5
6 すうー…、んふ…。ん…、すう…。

7 …んー、寝られんなこりや。

8
9 以前の男が持ってた携帯も電池が無くなったから遊べぬし…、

10 お主のヤツでも借りちやおつかの。ムフフw 隠しの中に入っとるかな…。

11
12 ム…ばすわあどじゃとお…？ これを解かんと遊べぬのか…？

13 いい…ん…、それは面倒じゃよう…。

14
15 なにしよかの…、…ふん…。

16 お主…？起きとるかえ…？ ……ヨシ、ちゃんと寝てるな。

17
18 クククw どれどれ…先ほど得た妖力でも早速使^{つか}うとするかのお…w

19 寝ている間の成長をもうちよい促進できるように…、

20 栄養の吸収率を上げるか…、淫紋でも刻んで精力の底上げでもするか…。

21

1 …淫紋が良いな、体に変な模様ができて驚くトコ見たいしのw

2

3 **【正面・近い】**

4 (体を起こし、寝ている男の服を捲り、お腹に手を置く)

5 カカカ…w お主の腹、しばし借りるぞ…♡

6 妾の今使える妖力、出し惜しみせず流し込んでやるからな…

7 しかと受け止めておくれよ…。

8

9 **【正面・近い・お腹あたり】**

10 (小さな声でブツブツと呪文を唱えるように、聴き取れなくても良いです)

11 りょうひやく ゆじゅんない

11 令百由旬内・無諸衰患…。

12 (ここまで)

13

14 **【正面・近い】**

15 (やや疲れた感じ)

16 ……ッ。ふいゝ…、久方ぶりにこの術を使ったな…。

17 後で妖力団子でも食わんと尻尾が消えてしまいそうじゃ…。

18

19 さて…、淫紋は、と…。 うむ！よくできておるのお…w

20 お腹に綺麗に刻まれて…w さあてどんな悪さをしてくれるかな…w

21

1 寝ている間にどれだけ精子が製造されるかな…、

2 金玉の許容量を超えるほどに作られて、膨張されて…♡

3 ああ楽しみじゃあ…♡ 早く成長してくれないかのお…♡

4 こんなにも時間が経つのが待ち遠しいのはいつぶりじゃろうか…♡

5
6 クク…w 妾も早くお主とまぐわいたいぞ…。

7 目覚めた時…、いいや…もう少し辛抱して…ああ…体が火照る…♡

8
9 ちょっと…しばしまた横、失礼するぞ…。

10
11 【右・近い】

12 (男の寝ている布団に横になり、自分の股を弄り始めて弱めに喘ぐ)

13 んっ…。妾の膣も…お主に期待して蜜を零しておるわ…♡

14 妾の前張りのお札がぐずぐずになって意味を成しとらん…邪魔じゃし…。

15
16 (ぺりぺりと前張りを剥がす)

17 ふう…。ん……。

18 そんなに愛い顔で寝よって…、妾がただの善良な狐であると思っておるのか…。

19 はあ…はあ…♡ 本当は…っ、今すぐにでも襲い掛かって

20 お主のこと、食い尽くしてやりたいトコなんじゃが…♡

21

1 はっ…♡ 貪るにはちと早いよのお…？ お主のマラがもっと成熟してから…、
2 妾の体が壊れてしまうような、なっ…がいストロークで…♡
3
4 パンツ、パンツと犯されたいのお…♡
5 ぶっとくて、なっがぁ…い至宝のチンポを…
6 無理やり奥までぶち込んで…逃がさないぞとグリグリされて…
7 人間であることを忘れた獣のような交尾…♡
8
9 あっ、んぐう、…ふっ♡ 指こんなに濡れておるわ…♡
10
11 犯して…犯されて…、お互いの液体まみれで、
12 嗅覚を刺激する性臭にまみれたどろどろの交尾…♡
13 あっ…んふっ…♡
14
15 はぁ…あっ、あ、あ、んっ…♡
16 こんなにも肉欲が疼くのは久しぶりじゃ…♡
17 ああっ…、おっ…んおおお……っ♡
18 カカッ…w
19 妾の尻尾、お主のデカマラを期待してブンブンと振っておったわ…w
20
21

1 はあ…はあ…♡ んくっ…♡
2 妾のオッパイも…はあ…驚掴みにして揉みしだいて良いんだぞ…？
3
4 (喘ぎ声が大きくなり始める、濁点喘ぎも混じりやや汚めに)
5 後ろからオッパイ掴まれながら乱暴に腰打ち付けられて…
6 おおっ…お、んっ…♡ 逃がさないぞってバンバンとマラで突かれて…
7 んん ん ……っ♡お お ……う あ あ ……っ♡
8 マンコに収まりきらない量の精子をどびゅううう……っ…と…、
9 何分も精子を注がれ続ける感覚だけで脳ミソが快感にバチバチと…あっ♡
10 イキ狂わされるんじゃないやろうな…♡んお お おっ……お っ…♡
11
12 んっ、ぐっ、ぐうん…♡
13 早く…こんな指じゃあ満足できない妾のマンコを…おっ♡あ ああ…♡
14 カリ高で…ぶっとい竿で…ずろろろ………っ♡
15 うぐっ…お お ……ん あ あ ……♡
16
17 媚びるような声で喘ぐこともできないっ…♡
18 男の強いチンポ様に奉仕することしかできないバカマゾまんこに
19 ぶち込んで欲しいんじゃない♡
20
21 お、お お…、お、う、あ……♡

1 んっ、んっ、んんぐうっ…♡ぎもちっ…♡
2 あゝあああ、いぐっ…もういぎそう…っ♡

3
4 んんっ♡んおっ…ぐお…♡ も、だめっ…♡ハッハッハッ♡
5 お主っ♡ちと、チンポ貸せっ♡ 雄の匂いよこせっ♡

6
7 【正面・近い・お腹あたり】

8 (男のチンポの匂いを嗅ぐ、その後、潮吹き絶頂)

9 スンスン…、ンツ…スー…。

10 ああゝ…これ、効く…っ♡んふーっ♡

11 フン、スー…♡

12

13 あっ♡これ…イグッ♡

14 んんん らららっ♡♡ んぐあっ♡ん、おお らら♡

15 ダメじゃ♡潮、止まんっ♡ お主のチンポの匂い良すぎじゃあっ♡

16 もっと嗅がせろっ♡ はあ、んんー…♡うお おっ♡

17

18 脳ミソにこびりつくう…♡まだ…イっとる…♡

19 まんこ弄る手、止められん…っ♡ずっとイっていたい…♡うお…♡

20 んっふ…♡あ、ああゝ…。はー…。はー…。

21

1 うあ……。やっと…落ち着いてきた……。
2 ふう……。んんっ。

3
4 **【正面・近い】**

5 お主には潮……かかって……ないな、よし。
6 布団はぐしよ濡れになってしまったな…。

7
8 こんなに自慰が気持ち良かったのはいつぶりじゃろうか…。

9 やはり本物の雄が目の前におると違うのお…。

10
11 一回イっただけで妾はクタクタになってしまうが…

12 お主はこの一回だけで何百回もイッた快感を味わっているんじゃないから…
13 やはり体力と気の強さがケタ違いなんじゃろうなあ…。

14
15 しかし、気が強いのか警戒心が無いのか、

16 随分と深く寝ているようじゃな…。

17 妾も無我夢中で耽っておったから声を抑えられなかったが…、

18 こんな痴態、見られてたら恥ずいから助かったのお…。

19
20 **【右・近い】**

21 (再度男の布団の横に眠る)

1 んん……。ちと疲れた…もう一回寝てしまおう…。

2

3 …妾が目覚めた時にはお主のマラ…、

4 子宮の奥までボコボコにするような強靱なマラになっておると良いのお……。

5

6 (寝息、無声音で)

7 すう……。ふう……。ん……。

8

9

1

05・『30cm（46cm（67cm）

寝ている間に成長したチンチンを観測しながら丹念にねぶり、大量射精』

2

3 **【左・遠い】**

4 （男が起きたのを見てこちらに近づいてくる）

5 おっ……やっと目覚めおったか。

6 もう昼過ぎじゃぞ。

7

8 **【左・普通】**

9 どうじゃ息災か？ 寝ている間に腹の中空っぽになったじゃろ、

10 ご飯用意できておるぞ。精の付くヤツをな♡ たーんとお上がり。

11

12 **【正面・普通】**

13 （時間経過。ご飯を食べ終わり、会話を始める）

14 …カカw 美味かったか？ 体の芯から温まって活力みなぎるじゃろ♡

15 今のお主はよく食べ、よく寝るを繰り返して、

16 まさしく成長するのに好都合な生活をできておる。

17 あと数日繰り返せばお主は現代において

18 最強のマラを持つ男に成りえるじゃろうな。

19

20 それにしても…、ズボン、きつそうじゃのお…♡

21 今日もまた、脳の奥まで痺れる極上の射精をするかえ…？♡

2 **【右・近い】**

3 (男のそばに寄る。艶かしくゆつくりと喋る)

4 どうじゃ…？精子が止め処なく作られ続けて…

5 ぐつつぐつに金玉を煮えたぎらせて…

6 寝ている間に精子ごぼごぼ作りすぎておちんぽイライラして仕方ないじゃろ…♡

7

8 さっきお主が食った飯も合わさって、今すぐにもぶっこ抜きたいってトコか…

9 良いぞ♡ 妾が求めた最強のマラには、最高の射精を与えるべきじゃ♡

10

11 カカカw マラが随分とズボンの中で窮屈そうにしておるな…♡

12 ほれ♡ ズボンの上から…かりっ♡かゝり…かゝり…♡かりかり…♡

13 カカ…w ビクビクと跳ねて…♡

14 もう壊してしまいたいそうなほど大きくしてしまっているのお…♡

15

16 限界じゃろ… 今脱がしてやるぞ…♡

17

18 **【正面・近い・お腹辺り】**

19 (ズボンを脱がす)

20 んん…、大きすぎて脱がしにくいの…。

21

1 ……よっ、おおっ…♡これはまた随分と大きくなったのお…♡

2
3 それに… スンスン、んふっ♡

4 こんなにも雄の匂い漂わせて…近くに居る女を発情させるには十分じゃな…♡

5
6 お主が寝ている間に刻んでおいた淫紋が上手く作用したみたいじゃ♡

7
8 ムツ…？ ああ、そうじゃよ。

9 ちいとばかり淫紋で成長速度を速めたんじゃ。凄いじゃろう？

10
11 【正面・近い】

12 (立ち上がり、男の顔の近くでねっとりと喋る)

13 んしょ……。

14 淫紋のことはちと後で説明させて貰うぞ。

15 クク…w なあにお主の寿命と引き換えゝみたいなモノではない、安心せい。

16
17 寝る前までお主のマラがどれ程の大きさじゃったか覚えておるか…？

18 21センチじゃったが…、

19 もう妾の頭を優に超える大きさ…30センチもあるぞ…♡

20 世の男でも20センチぐらいの者はおるが…

21 30センチを超える者は全くおらん。

1 いよいよお主が最強のマラを持つ領域に入ったの…♡

2
3 クククw これからお主、世間からなが〜いマラを持って羨ましいから

4 僻まれるんじゃ、優越感が満たされるの♡

5 肩で風を切るのではなく、チンポで風を切るようなもんじゃ♡

6

7 今日はここから更に大きくして行って…

8

9 **【右・近い】**

10 **（耳元で劣情を煽るように）**

11 しゃ・せ・い♡して貰うぞ…♡

12

13 **【正面・近い】**

14 ああ…ゾクゾクするのお…♡

15

16 そしてな…さっきの淫紋の効果が発揮して…

17 妾の妖力が込められたその淫紋、お主の体の成長を促進して…

18 昨日までよりずっと一気に大きくなるんじゃ…♡

19

20 ではお主の淫紋を活性化させるために妾が少し手助けしてやろう、

21 ちとお主の口、貸してもらおうぞ♡

1
2 今更怯えるでない♡ ほれ♡

3
4 (ベロチューし始める、鼻息混じりに。)

5 ンチュ…デウルツ…ぷあ……。

6 ほえ、もつと舌出せっ…♡

7 つれ…ぶちゅう…ちゆるるるうっ……

8 ちゅっ…んむっ…涎…よく飲め……♡

9 ん、ふう…れりゅう……ちゅう…っぱ……。

10 ん…ちゅぱっ…ちゅくっ……ぢゅう、ちゅうっ…

11
12 んっ……はっ……♡ もつとじゃ……♡ んふ、もつと……♡

13
14 んぷあ…、んふ、んむちゅ……ぢゆるる…っぱ…

15 んん……もつろ…お主に……んちゅう…

16 (いじきど)

17
18 ……ん、よしっ。こんなモノかの…。

19
20 妾の涎には妖力がたくさん含まれていてな…

21 お主の淫紋と合わさり、今まで以上の成長ができるんじゃ…♡

1
2 (男の体が震え出し、成長が始まった様子、妖狐も興奮している様子)

3 ほれ、始まったか？♡

4 カカカッw 体、熱いのお。震えるほど血がドクドクと巡っておるようじゃのお。

5 おおっ♡お主のマラ、びっくんびっくんと魚のように跳ねておるぞ♡

6

7 どんどん大きく、どんどん太くなつとるぞお♡

8 お主の亀頭の段差、えっぐいコトになっておる♡

9 血管も浮いて、こんなモノを膣に入れたらひとたまりもないじゃろ♡

10

11 ほれ♡まだ大きくできるぞ♡

12 体が精液を作り過ぎて、金玉もどんどんデカくなっておるぞ♡

13 グツグツと金玉が沸騰してしまいそうじゃ♡

14

15 (成長収まる、妖狐も少し落ち着く)

16 ふう……、落ち着いたな……。妾も昂揚してしまったわ。

17 うむ…、46センチ…は…あるのお…。さっきまで30センチじゃったから…

18 一気に16センチも大きくなったのお…！

19

20 それに…お主のマラどんどん重くなつとるから体の方も少し筋肉がついとるの。

21 そのおかげでマラがピンと天に向かっていきり勃っておるわ♡

1
2 さて、デカくしたからには…クククw いつものように射精して貰わんとなあ♡
3 お主のぶっ濃い精液、た〜くさん飲ましてくりやれ…♡

4
5 そうじゃのお…、

6 お主、妻のオッパイ好きじゃろ？ よく目で追ってるの、わかつとるからの♡

7
8 **【左・近い】**

9 妻の…118センチのオッパイで…パ・イ・ズ・リ♡
10 してやろうか♡

11
12 **【正面・近い】**

13 **(服を脱いでオッパイを見せる)**

14 カカカw そないにマラをビクつかせて喜ぶなw
15 ほれ…、んしょ……。ほれ、ぼっろ〜ん♡

16 前にも見せたことあるが…お主好みであるかの？

17
18 んふ♡ そうか、ありがたいの♡

19
20 では……。そこに座ってくれるかの？

21

1 (男が妖狐の前に座り、妖狐も座る)

2 妾がお主のパイズリオナホになってやるからの…、

3 いっっぱい…どぴゅり尽くしてくれよ…♡

4

5 そらっ、せえゝ、のっ♡ ぬ、ぶ、ぶ…ずっぷゝん♡

6

7 カカ…w すっごいのお…妾の胸に挟んでもマラがまだ顔を見せとる♡

8 ガッチガチに硬くて…すっごい熱い…♡

9 今にも爆発してしまいそうじゃ…♡

10

11 あったかい肉に包まれて蕩けておるのお♡

12 顔は蕩け切っておるが、チンポだけは逞しくビキらせて、

13 早くシゴけえ、本気でズリコけえ♡ってビクつかせながら言っとなる♡

14

15 たっぽんたっぽん♡ほれ、ずりゅんずりゅん♡

16 オッパイぎゅゝっと押し付けて揉みくちやにされるの気持ち良いのお♡

17

18 オッパイの中でチンポ跳ね回って、喜んでおるのがわかるわ♡

19

20 顔を見せてる亀頭も温めて欲しいのか？

21

仕方ないのお…♡

1
2 (亀頭だけをねちっこくしゃぶり、射精感を促す)

3 んむぁ…ぢゅぷっ♡ぢゅっぽぢゅぽ♡

4 ほれ、亀頭だけを…ねちっこく…♡

5 ぢゅぱっ♡んむっんむっ、ぢゆるるる…っ♡

6 んっぢゅんっむ、んぢゅうう…っ♡

7 ぷふぁ…、亀頭だけでも大きいから咥えるのが大変じゃあ…♡

8

9 それにこのカリ…エツグいことになって…5センチは段差あるんじゃないか…♡

10 こんなので膣を削られたらひとたまりもないのお…♡

11

12 恐ろしくて仕方がないからのお…♡

13 今お主のマラを挟んでるのも、一緒に動かしてええかね…？♡

14

15 鼻息を荒げおってw

16 (胸を動かし始めてパイズリを始める)

17 そんなにお望みなら…この精を絞り尽くして

18 大きくなった我が胸…思う存分堪能するがよい♡

19

20 カカカツw そらっそらっ♡どっちゅんどっちゅん♡

21 妾の肉にこねくり回して…一気に射精感こみ上げさせてやるからな…♡

1 苦悶の顔、しておるのお…♡ だが、止めぬぞ…♡

2
3 もっともっと、お主の精子が欲しいのでな…♡

4
5 (マラを舌で舐めてから一気に啜える)

6 ほれ、続けるぞ…♡れえ…♡れろれろ…♡

7 あ…♡むっ♡んふう…♡ん…♡ぢゆる…♡

8 んむっんっ、ぢゅぢゅぢゅるっ、ぢゅぽっぢゅっぽっ♡

9 んっ♡ぬっちゅ、んちゅう♡ん…♡ぢゆるるるっ♡

10
11 (啜えながら喋る)

12 ぢゅ…♡んっんっ♡んむう♡ん…♡？♡♡

13 お主のマラ、もうバッキバキに震わして…♡

14 射精したくてしょうがないか…？♡♡

15
16 いいぞ…♡そのまま全て、んふう♡ 妾の口にぶちまけよ♡

17
18 (射精させるためにバキュームフェラしながらパイズリをする)

19 んぢゆるるる…♡♡ぢゅっぽぢゅっぽ♡♡

20 んぢゅっ、んっぢゅ♡ずぞぞぞ…♡ んっんっぶっ♡

21 んふう♡ んぢゆるるる…♡♡ぶぽっ♡んふう♡ぶびびっ♡

1 ずろろろっ♡ ブブ♡ じゅっぞ、ぞ、ぞ、ぞ~~~~♡

2 (咥えながら喋る)

3 んっふう♡ 果てよ♡

4

5 んじゅっ、じゅぞぞぞぞ~~~~♡

6

7 (射精する、口から溢れるほど勢いが凄いため、精液を飲みながら咥える)

8 んぶう!?! んっ…んふう♡ん ん ん ん ぐぶうううっ!!

9 んぐううぐぶう、ごっきゅっごっきゅっ♡

10 んっぎゅっ、ごきゅう、んふう♡んっ…ぐぶう♡ぶええ♡

11 んじゅう…、ごっきゅん♡ぶふう♡んっ…ふはあ!♡

12

13 (口から離すがまだ男の射精は続く)

14 ちよっ…まだ出るのか…! んっ…あっっ…♡

15 妾の髪にいったいかけおって…♡ どれだけ出すんじゃあ…♡

16 こんな量…んふう♡ それにどろっどろで濃厚な精子…♡

17 金玉に溜めてた精子を全部吐き出しているのか…♡

18

19

20 (こみあげてきて、特大ゲップ)

21 ふう…やっとな精子収まったかの…♡

1 んっぷ…、ああ、待たれよ…♡

2 ちょっと、お主の精子濃厚過ぎて……♡

3 んげえええゝゝゝゝっぷ♡ごえええ……っぷ♡

4 す、すまぬ…んっ…ごげえっっ♡げええゝゝゝっぷ♡

5 けほっ、ぷっ、はああ……。んふふ……♡

6

7 (射精したことにより男に更なる成長が始まる)

8 カカカ…w お主…妾が見込んだ通りの凄まじい性欲の持ち主じゃな…w

9 今のゲップを聴いて金玉どっくんどっくん唸らして、

10 マラも射精したばかりなのにバキバキに勃起…んん？

11 なんじゃ…今の射精でお主…またマラをでかくしていないか…？

12

13 おお…♡よもやここまでお主の体が妖力の適正があったとはな…♡

14 みるみる大きくなっているぞ…♡

15 脈動する度にマラに血管を浮かして、

16 ドグッドグツと勃起の音を立てながら反り返らせて、

17 太くながゝく…どんどん最強のマラになっているなあ…♡

18 金玉もゴボゴボ♡ぎゆるるるゝ♡と精子を作ってスイカ以上に大きくして…♡

19 こんなにも早い成長、妾でも見たことがないぞ…！♡

20

21

1 (成長止まる)

2 収まったかの…？

3 凄いのぉ…湯気が立つほど熱く凶悪に太いメス殺しチンポじゃあ…♡

4 これは…、六十……七センチはあるんじゃないか？♡おっきいのぉ♡

5 今あんなに射精したのに、ブルンと凜々しく反り返って勃起しておる…♡

6 お主の口元にまで届きそうな程大きくしているじゃないか…♡

7 セルフフェラまでできてしまうんじゃないか？wカカカw

8 せんか？そうか。

9

10 ムッフw …こんなに大きいと女子の子宮おなごを捻り潰してしまいたいそうじゃのお♡

11 孕め…孕め…とマラをぐりぐり押し込んでいる間に、

12 女の気を失わせてしまうんじゃないか？w

13 そのまま射精して卵子をぜ…んぶ食い尽くすような強い精子で

14 女を孕ませるんじゃないか…♡カカカw ええのお楽しみよのおw

15

16 (コンドームを妖力で作り、マラにつける)

17 どれ、お主の更に成長したマラがどれだけ精子を出せるか見させておくれよ♡

18 ほれっ、妾の妖力でゴムもちよいのちよいじゃ！

19 今のお主のマラとぴったりじゃぞ♡

20 これを使ってお…♡

21

1 **【右・近い】**

2 (耳元でゆっくりと囁くように艶めかしく煽る)

3 たくさん、気を失うまで射精し続けて…

4 部屋を精子がたつたぷに詰まったゴムで埋め尽くそうじゃないか…♡

5
6 カカカw その鬼勃起マラがもう二度と普通の射精では満足できないように

7 ドロネバの精液を出しても出しても止めない…

8 限界突破のガチヤバ最強精子製造激深絶頂永久機関となるんじゃ…♡
9 げきふか

10 よいか…？今からお主には連続で何発も射精してもらうからな…♡

11 まずは妾の118センチのデカパイで挟んで…

12 極楽に…♡連れて行ってやるからな…♡

13 射精した後もまたすぐにお主のマラを回復させて…

14 手でも…♡口でも…♡妾の尻尾でも…♡何度も何度もどっぴゅう…♡…♡

15 射精させてやるからな…♡

16
17 **【正面・近い】**

18 (まずはパイズリで絞り始める)

19 このアツアツのマラを妾のオッパイで…

20 ぬ・ぷ・ぷ・ぷ…♡…♡精子絞り出してやろう♡

- 1 んっ…んっ…ここまで大きいと挟むのが大変じゃ…♡
- 2 しかもこんなにマラが熱いとオッパイが火傷してしまいそうじゃ…♡
- 3
- 4 ほれ、ずり…ずり…♡ぱっちゅんぱっちゅん♡
- 5 クソデカ金玉がグツグツに煮込んだ孕ませ汁、ぜ…んぶ…♡
- 6 ゴムの中に射精するんじゃ…♡
- 7 無駄撃ちにはせん…ちゃんと妾の妖力として得てやろう…。
- 8 相互作用で妾とお主、どちらも高め合おうじゃないか…♡
- 9
- 10 カカ…w マラに刺激が来て金玉が活性化して、
- 11 精子ゴボゴボ溜まってどんどん膨らんでおるぞ♡
- 12 オッパイにお主のデカくて熱い金玉が当たりおる♡
- 13
- 14 それに鈴口から先走り汁がだらだらと垂れてきて…♡
- 15 滑りを良くしたからどんどんしごけと言っているようじゃのお♡
- 16
- 17 (男の心情代弁、荒っぽい言い方だけど声は荒げない。息は荒い。)
- 18 おいつ、早くしごけっ♡
- 19 俺の金玉から精子をチンポに送りすぎて渋滞が起きてんだっ♡
- 20 うお、おお…♡効くう…♡
- 21 ミッチミチに固まったぶっ濃い精子が尿道搔き分けてコキ出してえ♡

1 部屋ん中、俺の精子臭が取れないぐらいぶち撒けてえ♡
2 コンドームぶち破るぐらい圧力たっかい精子ぼびゅぼびゅ出してやるからな♡
3
4 ああ♡金玉ゴボつく♡
5 鼓動ばっくんばっくんって精子とめどなく製造してる♡…♡
6 チンポずっと跳ねてっ…妖狐のパイズリに合わせてズルズル精子登って…
7 やっべ♡ このまま精子引っ張り出されそう♡
8
9 鈴口完っ璧に開き切って金玉から60センチを超えるチンポまで
10 擦り上げながら仰け反ぐらい頭がバカになる人間離れの射精する♡
11 ギットギトの射精するのも難しい極太精子い♡
12 は、はやく！射精させろっ♡ドビュらせろ！
13 (心情代弁ここまで)
14
15 ククク…w お主の頭の中はもう射精でいっぱいじゃな…♡
16 良いぞ…♡ 今…超濃厚精子びゅーびゅー射精させてやるぞ…♡
17
18 妾のオッパイの乳圧高めて…♡
19 ばっちゅんばっちゅんと♡激しく攻め続けてやるから…♡
20
21

1 【左・近い】

2 (いきなり耳元に近づかれてトドメの囁き)

3 ゴムを破裂させるぐらいに…ぶち撒けよ♡

4

5 【正面・近い】

6 (射精)

7 あっはぁ♡ 射精^ひよる射精よる♡

8 金玉収縮してぼっこんぼっこんとチンポに精子送り続けておるっ♡

9

10 もりゅもりゅもりゅうっ…っ♡

11 どぶどぶどっぶん♡まだまだ射精るな♡

12 ごびゅぶぶぶっ…♡びゅー…びゅうっ…っ♡

13

14 凄いぞぉ…♡ゴムがみるみる膨らんでいき…♡

15 お主のスイカぐらい大きい金玉と同じ…いや、それ以上に射精ておるぞ♡

16

17 カカカw まだまだ射精続いておるな♡

18 腰をそんなに浮かして…♡ 息も荒すぎじゃ♡

19 ほれ、妾がオッパイでヨシヨシしてやるからそのまま射精止まるまで頑張れ♡

20

21

1 びゅぐるるる♡ぼっ…びゅうう…♡

2 どっぴゅううう…♡

3
4 は…いいお疲れ様じゃ…♡ ゴムが限界まで膨らんで今にも破裂しそうじゃぞ…♡

5 フム… 5キロは優に超えるんじゃないかこれは…♡

6 カカ…w この量の精子を飲んだらどれ程の妖力を得るんじゃないかなあ…♡

7

8 ほれ…ゴム外すぞ…♡

9 (コンドームから漏れる匂いを嗅ぐ)

10 んっ!？ んっ…ふう…♡ カカツ…♡ すっごいオス臭じゃあ…♡

11 こんな匂い嗅いだらおまんこ屈服絶頂してしまうな…♡

12 しかもすっっ…ごい重いなあこのゴム…♡

13 動かすどだっぽんだっぽんに揺れて中身が全部出そうじゃな…

14 このぶっ濃い5キロは超えてる精子を部屋にぶち撒けたら一生匂いが取れんな♡

15

16 しかも…こんなにも射精したのにまだお主にマラはいきり勃っておるな…♡

17 しかしお主の金玉はぶっこぬき終わって空っぽみたいじゃな…♡

18 息もあがっておる…疲れたかの？

19 だが先にも言ったじゃろ？ 今日はまだまだ休ませぬぞ…♡

20

21

1 (指パッチンで男のチンポを強制回復)

2 そーれパチンつと♪

4 ほれっ♡また金玉がゴポつき始めたじゃろ♡

5 お主の中に眠る妖力が精子製造を手伝ってくれておるんじゃ…♡

7 しかも前よりもお主は妾の妖力をその身に受けてきて、

8 どんどんと力が増幅しているのがわかるぞ…♡

10 つまり…今のお主なら一週間はオナ禁したようなドロッドロの精子を

11 簡単に作り上げられるんじゃ…♡

12 さあ精子もつと作るんじゃ♡作れ♡

13 金玉ゴポつかせて濃厚なオス臭精子うじゃうじゃ作れ♡

15 …よし、精子満タンといったところじゃな。

16 いつぞやみたい寸止めのような意地悪はせぬから、

17 射精したくなったらいつでもドピユるんじゃぞ♡

19 ではまたゴムをつけて…♡

20 次は妾の手でお主のでっかいマラ…しごき倒してやろう…♡

1 (ここから妖艶にゆったりと吐息多めに煽るのを強調する)

2 カカ…w こうして手で触れるとデカさが直に伝わるのお♡

3 指輪っかでは当然くくれん…両手を使っても完全には覆いきれない太さとはな…♡

4 しかも固くて熱い…♡どくどくと脈を打っておるな…♡

5 枯れ果て知らずの絶倫ちんぽ…♡

6
7 こうして浮き上がった血管を指でっ、っ、っ、っ…っとなぞると…♡

8 ゾクッ、ゾクゾクッと快感がチンポを伝って脳ミソ震えるじやろう♡

9
10 性感帯をとことん刺激して…イラついたマラの興奮を高めさせて…

11 精子が漏れ出るように吐き出させてやろう…♡

12
13 んん…♡ん、ん、ああ…♡ ほらあ…♡

14 こうして指でねちっこおくイジメられると金玉疼いて仕方ないのお♡

15 声もあっ♡あっ…♡おおお…♡♡と漏れ出てるぞ…♡

16 そんなにマラを辛そうにするでない♡今、妾が撫でてやっておるのだぞ？♡

17
18 クク…w カリ首がどんどん大きくなっておるな…♡

19 ぶっ濃おく…粘っこおく…♡精子が熟成されて…

20 お主のちんぽ…♡イラついて仕方がないの…♡

21

1 (男の気持ち代弁、声は荒げずに射精感を煽るように)

2 んん♡ふうー…♡ふうー…♡

3 おい、早く両手使って俺のちんぽしごけ♡

4

5 もう2回も射精してて脳ミソ快感でバカになりそうなんだ♡

6 そんなちゅこちゅこチンポを快感で煽るようにやられてたら

7 頭ん中射精のことしか考えられなくなりそうなんだよ♡

8

9 んふうー…♡はぁ…はぁ…♡

10 妖狐の体見てっとチンポ苛つくう…♡

11 バカみたいにでっかいオッパイがチンポビキるう♡

12 お前の手マンコ絶対に俺の精子でぎとぎとにして

13 一生匂いとれないようにしてやる♡

14

15 ああ♡ぶぴゅりてえ…♡もう数秒で終わるような射精じゃ満足できねえ…♡

16 早くしごけ♡何分もぶってえ精子えっぐい音出しながらぶっこきてえ…♡

17 (いじめど)

18

19 ククク…w お主の頭の中は随分と乱暴じゃな…♡

20 早く両手でごしゅごしゅとしごき倒して精子ぶち撒けたいもんなあ…♡

21

1 良いぞ…♡
2 お主のマラも金玉もこうしている間に重たくなってるようじゃしな♡
3 また濃厚な精子、ゴムに吐き出してもらうぞ…♡
4
5 (普通ぐらいの速さで喋り始め、両手で思いっきり激しくチンポを扱き上げる)
6 ほらっ、ぢゅこぢゅこぢゅこぢゅこ♡
7 どうじゃ？♡甘い快感を受け続けた後にバチバチに扱いてやると
8 一気に射精感が込み上げて来るじゃろ♡
9
10 我慢せずとも良い♡ 一気にぶち撒けろ♡
11 ド下品に成長し続ける最強マラの濃お…いい精子っ♡
12 ビュルルルル…っつとコキ出してしまえっ♡
13
14 全身の血液がチンポと金玉にどくどくと供給し続けて興奮途絶えぬまま
15 真っ黄色の精子びゆるびゆるぶっびゅう…っ♡と吐き出せっ♡
16
17 カカカッw チンポぼっこんぼっこんと精子の塊運んでおるぞっ♡
18 出るな？出すな？♡いいぞ♡
19 体中ビクつかせながら金玉にある精子根こそぎ頭がおかしくなるほど
20 なっがああ…いい射精しろっ♡
21

1 イケッ♡イケッ♡イケイケイケッ♡

2

3 (射精)

4 ぽっぶびゅう~~~~♡ごっびゅう~~~~♡

5 出てる出てる♡金玉が狂ったようにバグンバグンと跳ね回っておるぞ♡

6

7 ぶりゅぶりゅどぶどぶ♡ぽびゆるるるっ♡

8 んおおおお……♡出るう……♡すっげえ続くぞこの射精え……♡

9 どぐっ♡どぐどぐどぐっ♡ぽっ……びゅっ♡

10

11 まだ出るな♡両足の筋肉を強張らせて精子吐き出させるんじゃ♡

12 ほらっ♡壊れた蛇口のように……びゅばばっ♡びゅっ、びゅっ、びゅう~~~~♡

13

14 どっ……ぴゅん♡

15 ……収まったかの。 気が狂いそうなほどの快感じゃったな♡

16 見よ、このゴム♡凄いのぉ♡さっきのより更に大きく膨らんでいるぞ♡

17 射精の勢いもパイズリの時より増していたのではないか……？

18 コンドームが精子でびちびちと内側から突き破られそうになっておったぞ……♡

19

20 量も増え、勢いも増したということは

21 この僅かな間にもお主のマラは成長している証拠じゃよ♡

1 本当にお主は優秀な雄じゃ♡

2
3 よし…これで2つ目…♡

4 次で今日は最後にしようではないか、まだ…いけるじゃろう？♡

5 カカカw まあ、有無は言わせんがのお♡

6
7 **【右・近い】**

8 (ゆったりと喋る)

9 妾のこの二本の尻尾…お主の体に巻き付かせて…♡

10 身動き取れんなあ？ カカカ…w

11 そら、逃げることはできず…、ただ快楽に溺れろ…♡

12
13 呼吸をすれば顔に巻き付いた尻尾から匂いを吸収し…

14 全身にぞくりと走る極上の快感…♡

15
16 その心地良さが脳に多幸感をもたらし、

17 どくどくと心臓が高鳴り…

18 血流がマラに流れ込んで…ぴん…と勃起してしまう…♡

19
20 よおく嗅ぐと良いぞ…♡

21 お主の妖力が今じわじわと内から覚醒し、

1 もっともっとと…どんどんマラを大きくさせようとしている…♡

2
3 では…その妖力の活性化、また手伝わさせてもらおう…♡

4
5 **【正面・近い】**

6 (ベロチューを始めて妖力を流し込む)

7 ほら…大きく口を開けよ…♡

8 んっ…むちゅ…ちゅる…あむ…あ、んう……♡

9 じゅるう、ぢゅぶあ、くちゅ、ぢゅぶぶ…れえ…あっむ……。

10 えろ…、ンフフw お主のマラ、またビクビクと跳ねておるぞ…♡

11
12 ほら、もっと大きくするんじや…♡ ずじゅるる…♡

13 くちゅ、ちゅつぶ、じゅりゅりゅっ♡

14 んふ♡ん…あ、んむう…♡っむ…ずぶじゅるっ♡

15
16 …ぶあ。 お主、妾と舌を絡ませるの相当に好きじゃな？♡

17 妾の涎全部吸われるかと思ったぞ♡

18 それにほれ、マラもびんっびんじゃ♡

19 今日で4度目の射精になるが、まだまだ出せそうじゃな…♡

20 では早速またゴムつけさせてもらうぞ…♡

21

- 1 ククク：w 先までのオッパイや手では
- 2 お主のデカイマラを扱くので大変じゃったが：
- 3 尻尾では簡単じゃ♡
- 4 お主の乳首をカリカリとイジメながら射精に導くこともできるしのお♡
- 5
- 6 さあ、お主の濃ゆい精をたんと吐き出すんじゃ♡
- 7
- 8 (尻尾でマラをしごき始める)
- 9 ちゅこちゅこちゅこちゅこ♡
- 10 バッキバキの勃起マラを妾の尻尾で扱いてやるからなっ♡
- 11 お主の太いマラも尻尾ならぐると巻いてしまえるからのお…♡
- 12 滅茶苦茶にしてしまうぞ…♡
- 13
- 14 また金玉がゴポつく快樂の波が一気に押し寄せてくるじゃろ♡
- 15 マラが蹂躪されて絶頂の快感が噴き上げ：
- 16 びゅっ、びゅっ、びゅー…と…♡精子をコンドームに吐き出せ…♡
- 17 今までの射精で最もぐちよぐちよになるほど、出し尽くすんじゃ…♡
- 18
- 19 ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ♡
- 20 カカカw ほらもう一本さらに追加じゃあ♡
- 21 お主のようにデカイマラだと両の手がシゴけてしまうからなあ…

1

3

4

9

7

 ∞

10

11

12

14

15

16

17

18

20

21

1 ほれ♡我慢するな♡ お主の精子は全て妾のモノじゃ♡
2 誰にも渡さん♡ 妾だけにお主の愛い姿を見せよ♡
3 獣の様なけたたましい極太の射精をしながら、
4 快感を味わう事しかできずにだらしくも愛おしい顔を見せるんじゃ♡
5
6 (男の心情代弁、絞り出すようなオホ声に)
7 うおゝおゝおゝ……っ♡ふうう うゝ……っあゝ……♡
8 ぶってえの出るぞお……♡出すぞお……おゝ……♡
9 ふう うー……っっ♡無限にぶりゅぶりゅ出るうううゝ……♡
10
11 ドロッドロのおゝ……♡ 金玉からぼっびゅうつ♡と出してえ……♡
12 精子の塊が金玉を破裂する前に全部出すぞお……♡
13 うおゝおゝおゝ出る出る出る出るっ……♡
14 今までいっちばん長い射精するゝ……♡ちんこバカになる……っ♡
15 こんな尻尾我慢できねえ♡
16
17 はっはっはっはっ♡出すっ♡もう出すっ♡
18 あがぁ♡んくう♡ おゝあぁあゝあゝっ♡イクイクイクイク♡
19 イっっっ……グっ！♡

20 (いっけい)
21

1 【右・近い】

2 (射精を促す囁き)

3 イケ♡

4

5 【正面・近い】

6 (射精)

7 ぶっつっりゅう~~~~♡ぶぐりゅりゅ~~~~♡

8 出おった出おった♡カカカw すっごい勢いじゃあ♡

9

10 ぼびゆるるるる♡ぐぼびゅうう~~~~♡

11 どっぶどぶ♡びゆるるるる…♡どっぶん♡

12 ごぶぶぶぶ♡まだ出せるな?♡

13 お主の極太ちんぽからギツチギチのザーメンの塊をコキ捨てろ♡

14 どぴゅどぴゅと射精の勢いが収まらんなあ♡

15 ゴムが今までにないほど大きく膨らんでおるわい♡

16

17 止めるな♡我慢するな♡吐き出し続けよ♡

18 チンポ快楽に溺れよ♡どっぴゅんどっぴゅん♡

19 そらもっとじゃあ♡ぼびゅぐっ♡ぶりゅりゅ♡ぶっぴゅう~~~~♡

20 金玉もチンポも稼働し続けて、長射精がまだまだ続いとるのお♡

21

1 と…ムッ？ おい、ゴムが…。

2
3 (精子を出し過ぎてゴムが破裂する)

4 ひゃあっ！？ ゴムが破けっ…♡ 精子が弾けおった♡

5 ちよっ…♡ まだ精子出てるっ♡ 凄まじいのおお主♡

6
7 ほれ♡ よいぞ♡ 出し尽くせっ♡

8 びゅっ♡びゅっ♡びゅうっ…♡

9
10 止まったかの…？ イキ過ぎて体震わしておるな…♡

11
12 カカカw 見よ♡こんなに精を吐き出して部屋を精子まみれにしおって…w

13 こんなに射精したら快樂死してしまうかもなあ…w

14 じゃがお主なら、そんなヤワなタマではないじゃろうが…♡

15
16 この部屋にぶち撒けられた精子は妾が後でしっかりと回収しておくぞ♡

17 この量…およそ10キロ以上はありそうじゃな…♡

18 人がこれだけの精子を一度の射精で出せるとは、淫紋の力は凄まじいな♡
19 そして先ほどの精子もゴムにある♡

20 これを使えば…明日はとんでもない妖力を得られそうじゃなあ…♡

21 クククw 楽しみじゃのお♡

1

しかし…妾の体も精子でベツトベトじゃあ…♡

3

これじゃあお主の精子の匂いが当分取れそうにないなw

4

んん… えっ？ ……なっ！ たわけっ！

5

孤高の妖狐である妾をマーキングなど……すー……良い、かもなあ……。

6

ちよっとゾクゾクするの……♡

7

06・【67cm／98cm】第肆の妖術、触手オナホさんで特大射精

【正面・遠い／普通】

（夜、男が部屋でぼんやりとしているところに妖狐が外から近づいてくる）

よおお主。

いやはや、昨日は随分と出しおったから丸一日寝ているかと思っとなったわw

【正面・普通】

お主が寝ておる間、起こしちゃ悪いと思ってなあ

暫くこの辺りを歩いとったんじゃ。やっぱ凄く静かじゃここ。

何故と…。それはもちろん…♡ 成長、しとるはずじゃろ？♡

寝ている間に淫紋でぐつりぐつりと…♡

うっかり朝勃ちなんかしてしまったら着衣を破壊してしまうほど

大きく大きく育ってしまったからのお…♡

益荒男たるお主らしいマラになっているんじゃないかのお？♡

（昨日作った使用済みコンドームを取り出す）

では…、ほれ♡ お主が昨日出したゴムじゃ♡

信じられん程中に精子が詰まっておる…♡一つは破裂させたしのお…♡

1 今からこれで妾の妖力を高めて、また更に大きくしてやるからな…♡
2 では…。 …っと、カカw

3 革袋に入った水を飲むようにせんと零れてしまうな…♡

4
5 (精子を飲み始める)

6 んぐっ、んぐむっ♡んぐんぐんぐ…ごっつつくん…♡

7 ううんっ♡胃から精子の匂いが…♡喉を通すのも大変じゃ…♡

8

9 れぶっ♡ずっ、じゅううううう…♡

10 この量、この濃さ…どれだけの妖力を得られるのやら…♡

11

12 じゅるるる♡んんふ♡ぐぶっ、ごきゅっ…♡むっぐ、ぐっきゅん♡

13 んうっ♡ごくごくごく、ごっきゅ…ん♡

14

15 うっ…ふ…♡ あっ…これまた…♡すまぬっ、下品で悪いが、

16 ゲップ、出そうじゃ♡んぐっふ…♡ふうっ、ふーっ♡

17

18 ゲエエエツ!!♡

19 ゴオッゲエエエエツプ!♡ゴブオッ!♡

20 けほっ♡げえっふ…、うっふ…♡

21 ゲエエエエツプ!♡

22

1 はあっ♡はあっ♡んふう♡ふっ♡ふうっ、うぐっ♡

2
3 すっごいのお…♡濃すぎて…かふっ♡こんなの、飲み切るのが大変じゃ♡

4 お主の孕ませ汁、どろっどろで胃にこびりつきそうじゃ…♡

5 この前はぶっかけられて精子の匂いを付けられたが、

6 内側から精子の匂いを付けられてしもたわ…♡

7
8 んっふ…♡うむ…確かに、妖力を得ているな…。

9 尻尾の毛並みが良くなっておるぞ♡

10
11 では…その勃起していなくても異様にデカイマラを

12 また絞り尽くしてやるからな…♡

13
14 だが、今日は妾が主役ではない、

15 いやお主に自慰をしてもらう必要はないぞ。

16 これを使うんじゃよ♡

17
18 (触手オナホを作り出す)

19 ん……っ！ ぽんっ♡ ほれできたのお！これが何かわかるか？

20 オナホールというものに触手がびっしりと生やしたモノじゃ…♡

21
22 そう怯えるな♡ こやつはお主のマラと一時的に共生するだけじゃ♡

1 精を食ることができれば満足し自然とマラから離れる。

2 さりとて…、満足せねばいつまでも終わらぬ快樂地獄に囚われてしまうがのお…♡

3
4 まあ恐れるな物は試しじゃろ♡脱げ脱げ♡

5
6 **【正面・近い】**

7 (服を脱いだ男の股間に触手をあてがう)

8 では、このまま…お主のマラにあてがって…にゅっぷん……っと。

9 大丈夫じゃよ、勃起に合わせてこやつらも変態する。

10 だから壊れる心配はせんでよいぞ♡

11
12 よしよし…触手たちがヌメリヌメリと蠢いておるな♡

13 そのまま…ああ…♡

14 ぐちゅ…ぐちゅ…と、ゆっくりとマラに纏わりつき…

15 どん…どん…と勃起を促されて…♡

16
17 カカカ…w もっと勃起しろとじわりじわりと快樂が流し込まれておる…♡

18 妾も人ではないが…このような魔の者から得る快樂は人には真似できぬこと…♡

19 存分に痴態を晒すが良い…♡その逞しき勃起マラが悦びの頂きを求めて

20 射精…♡し尽くすんじゃ…♡

21
22 よしよし…、これで勃起は済んだな…。

1 昨日より僅かに大きくなっている…♡やはりまだ硬く太く大きくなるか♡

2
3 だがのお…こやつも妾と同じでな…♡

4 も…っと大きく…絶倫なマラが好みなんじゃ…♡

5
6 気付いておるか…？

7 今お主のマラ、随分と濡れておるよなあ…♡

8 その液体は妾の唾液と同様…妖力で出来ておる…♡

9 そんな液体に浸かるだけでマラが成長するのはわかっておるじゃろうが…

10 もっとじゃ…♡

11
12 (男のマラの鈴口に触手が一本にゆるりと入っていく)

13 カカカ…w 今の感触わかったか…？

14 にゆるりと…お主のマラの鈴口に細い触手が入っていったんじゃよ…♡

15 そう怖がるな…♡受け入れたほうがお主も幸せじゃぞ…♡

16 ほれ…ぷくりと触手が膨らんでいるのを感じるか？

17 この後どうされてしまうか…お主はわかっているんじゃないか？♡

18
19 触手が持つ妖力をな、お主のマラに直接流し込むんじゃ…♡

20 今までよりも絶大に大きくなることが期待できるぞ…♡ワクワクするのお…♡

21 ほら、始まるぞ…♡全部受け止めよ♡

22

1 (触手が妖力のこもった液体をマラに流し込む)

2 でおったな♡ その液がお主のマラを極限にまで成長させるからな♡

3 しっかりと受け止めるんじゃ♡

4 ぐぼりぐぼりと流し込まれ、その間もマラ全体は廻られ…♡

5 頭の中がチンポのことしか考えられなくなってしまおうのお♡

6

7 (流し込み終わり)

8 ふう…、止まったかの。

9 すぐにお主の体に変化が始まるじやろうな。

10 ほれ♡ブワツと汗が吹き出して鼓動が早くなってきたじやろ♡

11

12 (チンポの成長が始まる、艶やかに囁くように)

13 マラを蛇行する血管がビキビキと太くなっていて

14 ボコボコと浮き立っておるわ♡

15 亀頭もパンツパンに膨らんでカリ首がミキミキと傘を広げていて…♡

16 お主のチンポばくんっばくんっとお主の腕よりも長く…♡

17 足よりも太くなっていてるぞ…♡

18 金玉ももうパンツパンに膨らんで…♡豚なんかの比にはならんな♡

19 どれだけの量を出し切れば元の大きさに戻るんじやろうな…♡

20 この間は5リットル以上出していたが…その倍は出せそうじゃのお…♡

21

22 ほれ、もっと大きくせよ♡気張らんと倒れてしまおうぞ♡

1 お主が倒れたとしても触手共は蠢き続けるからな♡

2
3 カカカw ぶるんぶるんと勃起させて♡

4 ちんぽイライラとさせてどんどん熱くなっているな♡

5
6 (チンポの成長止まる、触手は精を貪るために動き続けている)

7 よしよし、体が順応できたかの

8 凄まじい存在感を放っておるなお主のマラ…♡

9 たろつぷりと血が巡って…濃ゆい精液が作り上げられた金玉…♡

10 強烈な熱気と匂いで周囲の雌を一瞬で墮とすのは簡単じゃろうな…♡

11
12 触手が蠢いていて…長さがちとわかりづらいが…

13 昨日までが67センチじゃったから…

14 カカ…♡31センチも大きくなって98センチになったぞ♡

15 はああ…♡おつき…♡かっこいいのお…♡見ているだけで疼くぞ…♡

16
17 一度の成長だけでこんなに大きくなるようになるとはのお…♡

18 凄まじく体と妖力の相性が良いんじゃないやろうな…♡

19
20 カカ…w こんなに長いとお主が腕を伸ばしても

21 亀頭に手が届かないのではないか…♡

22

1 ほら、成長したから終わりではないぞ…♡

2 まだまだ触手は蠢き続け…♡お主の精を絞り尽くし始めるぞ…♡

4 マラがビクビクと震えて…♡だらりと先走り汁が垂れておるぞ…♡

5 自分でも知らないような快楽を何中何百の触手が走らせてきて…♡

6 精液作るの止められないのお…♡グググ…っと…金玉大きくさせているぞ…♡

7 えろい快楽で…マラが玩具のように扱われて…下品にブピユるために…♡

8 ごっぷんごぷんと精液作り続けろ…♡

10 カカカ…w 幸せそうな顔しおって…♡イジメられるのが好きなのか…？♡

11 確かに今までは妾の射精奴隷じゃったがの…♡

12 せっかくのこのマラ…簡単に絶頂させられるだけじゃったが…♡

14 【右・近い】

15 (耳元で囁くように)

16 セックス…♡に使ったら…ハメられている女はどうなるかのお…？♡

18 この成長に成長を重ねた雄として最強のマラ…♡

19 女が歩いているところにこのマラを見せつけてみよ…♡

20 どんな女も変態ドスケベセックス願望の発情まんこに一瞬でなってしまうぞ…♡

22 そのまま宿にでも直行し…寝床に着く前にそのままセックスを始めてしまう…♡

1 マラを突っ込む前からバカみたいに濡れたまんこはお主のもの…♡

2

3 鼻息荒く腰を振って亀頭でゾリゾリと膣内を削って…

4 愛液と先走り汁を混ぜ合わせたねっばねばのラブラブジュースを

5 おまんこに塗布して、遠慮なく快楽を貪る精子ヒリ出しピストン♡

6

7 その長すぎるストロークでどんなメスも快楽を受け止めるのに必死で

8 獣のような声で喘ぐことしかできず…♡

9 おゝ♡んおゝ♡おゝおゝおゝ…♡

10 つと…ぎゅぎゅ〜と膣内射精を媚びりながらチンポに堕ちる…♡

11 おちんぽバッキバキにフル勃起して最大勃起サイズ更新するようなセックス…♡

12 射精することしか考えられなくなるエツロ〜いメス媚び声…♡

13 孕ませ用の本気射精して…卑しいメスを屈服させる…♡

14

15 そんな女を食い散らかす生活がもう目の前じゃ♡

16 カカカ…w 今までのお主を見ていると、奥手なように見えるからのお…♡

17 そんなガン攻めができるかは心配ではあるが…♡

18 その時は妾が憑依でもして手助けしてやろう♡

19

20 精液おねだりしている雌に種付けピストンで大量射精…さしてやろう…♡

21

22 【正面・近い】

1 (妖艶にゆったりと吐息多めに煽るのを強調する、金玉の匂いを嗅ぎ始める)

2 クククw マラが刺激を受けてびっくん、びっくんと上下しておる…♡

3 マラは触手に任せて…妾はこっちを…♡

4 すんすん…ふすう…♡ はふう…♡

5 凄まじい匂いじゃ…この金玉はお…♡

6 すんすんすん…♡んふう…♡くさあ…♡んっ、ふうう…♡すー…♡

7

8 (金玉にキスしながら)

9 ぢゅぷう…♡ちゅぽんっ♡むふう♡れろれろ…♡

10 このぷるぷるの唇でえ…♡ちゅ、ちゅ、ちゅうう…♡はふ…♡

11 ぢゅむむっ♡れる、ちゅうっ♡んう…ふっ♡ぢゅう…♡

12 唇でお主の金玉がゴポついてるのがわかるぞ…♡ちゅうっ♡ふーっ♡

13

14 へっ、へっ、へえっ…♡金玉ご奉仕…♡ふう…♡ほお…♡

15 フーッ…♡ん、はあ…♡ちゅ、れるお…♡

16

17 ん、じゅりゅう…♡ ふひゅうっ…♡れええ…♡

18 お主のマラからカウパーが妾の顔にたくさん垂れてくる…♡

19 んむう…♡じゅるる…♡舐めるほど…♡どんどんお主の金玉が精液を作りおる…♡

20 すんすん…♡んぶ…♡んごっ♡ぢゅるる…♡

21

22 …ふぁ♡

1 お主の顔、随分ともう切なそうになっておるな…♡
2 良いぞ…♡今日一発目の射精しようではないか…♡

3
4 コンドームは付けなくても大丈夫じゃぞ…♡

5 触手が勝手にゴム代わりになってくれるからな…♡

6
7 お主のマラに纏わりついた一本一本の触手が蠢いて…

8 無数の手に扱かれ続けるような快楽…♡

9 精液ひり出したくて仕方ないのお…♡

10 グツグツに興奮しまくった精液一滴残らず全力で、射精しまくりたいのお♡

11
12 ほら、お主の丸出しの乳首を…♡

13 カリカリカリ…♡カリカリッ♡ カリカリカリッ♡

14 もっと刺激を与えてやるからな…♡そのまま快楽の虜になって…

15 ぶりゅりゅ…♡と精液吐き出させてやるからな…♡

16
17 カリカリ♡ぐちゅぐちゅ♡ カリカリカリッ♡ぢゅぽぢゅぽ♡

18 ありえない数の刺激に身をもっとよじらせるんじゃ♡

19 上半身も下半身もとびっきりの快楽を受け続けて…♡

20 ぜ…ったいに気持ちの良い射精をしろ…♡

21
22 ギッチギチに張り詰めた怒張ちんぽ、つよつよ精子を吐き出せ…♡

1 カリカリカリカリカリ♡ はっはっはっはっ♡
2 ぐつぐつ煮込んだ濃厚精液、我慢せずに全部どびゆるんじゃ♡
3
4 我慢するな♡イクんじゃ♡
5 触手に向かって作られた精子全部を
6 長〜いチンポにごぼごぼと高速で登らせて吐き出せ♡
7 イケ♡出せ♡出せ出せ出せ♡

9 (射精)

10 はあゝ、いっ♡びゆるるるるゝ…♡びゆるびゆるゝ…♡
11 あゝ気持ち良いゝ…♡ぶぴぶぴゝ♡ぼびゆるるっ♡
12 どぶにゆるるるゝゝゝっ♡ぶびびいゝゝっ♡
13
14 かっこいいぞ…♡全力射精どびゆどびゆゝっ♡
15 熱々バキバキ勃起チンポから精子出し続けるんじゃ♡
16
17 どっぴゅ♡どっぽ♡びゅぼふるるう♡びゅうゝゝっ♡
18 むりゅむりゅむりゅうゝゝ♡ぶびびゝ♡どっぶぶぶゝゝ♡
19 射精中も触手にチンポを扱かれ続けて、精子止まらないのお♡
20 カカw 射精欲ぜんぜん収まらなくて出る出る♡ぼびゅびゅうゝゝ…っ♡
21
22 見ろ♡精液を飲んでる触手がぶくぶくと膨らみ続けておる♡

1 お主の亀頭にぱっくりと引っ付いて精子を求めとるぞ♡

2
3 ぶぼりゅっ♡ぶりゅりゅ♡どっふどっふ♡ぶりゅうゝゝゝっ♡

4
5 (射精終わる)

6 カカカ…w ようやく収まったの…♡

7 長い長い射精じゃったな…♡ぶっとい精子がびゆるびゆると出し続けて

8 お主の腰がへこへこと動き続けておったぞ…♡

9
10 この精子を飲んでいた触手…♡

11 こゝんなにどっぷりと精子で膨らんで…どれだけの量を出したんじゃ…♡

12 あんなに細かったのに…尋常ではないほど太くなって…♡

13 10リットルは出したんじゃないのか…♡

14
15 (触手が活性化して男がビクつく)

16 おお…♡また腰を跳ねさせて…♡

17 カカカw 今の射精で触手が活性化して、

18 もう一発ドピュれと激しくマラに隙間なく蠢いとるのお♡

19
20 良いぞ…このまま連続射精してみよ…♡

21 きつつい快樂が脳に走って…理性もなんにもないドロッドロの射精、せよ♡

22 あんなに射精したのにまだまだ勃起し続けてしまうつよつよおちんぽ♡

1 そんなじゃそこの雄とは格の違うチンポを持った優越感でまたどびゆるんじゃ…♡
2
3 む…昨日の様にまた妾に精子ぶち撒けたいのか…？
4 …むふ♡仕方ないの♡ マーキングしたいんじやろ？♡良いぞ♡
5 その触手ゴムに入っている以上の精子を出すんじやぞ♡たんとブピュリ散らかせ♡
6
7 こんな蕩けるような淫悦を擦り付けられたら
8 射精だけに体が機能してしまうなあ♡
9 これまでの快感を遥かに凌駕する、おぞましい程の射精をな…♡
10
11 クク…w お主のマラの鈴口を向けられると、
12 これに征服されるんだと存在感だけで威圧されてしまうな…♡
13
14 その巨大な金玉でイライラ熟成させた精子、全部妾に向かってぶち撒けよ♡
15 ザーメンで化粧できるように万遍なく、大量にっ♡
16 二度と精液の匂いが取れないようにくっさい黄ばんだ子種汁ブリだすんじや♡
17
18 触手共も早く射精しろとより早く蠢き始めておるぞ♡
19 腰に力を入れてブチ犯すようにガニ股で気持ち良く精子を吐き出すんじや♡
20 ドクドクと脈打たせて♡遠慮ゼロで妾にいちばん気持ちの良い快樂♡
21 その身で受け止めよ♡
22

1 精子の充填もう完了しておるんじやろ？♡
2 金玉がさつきみたいにもう大きくなっているぞ♡
3
4 精子がぐつぐつと作られたらそのままチンポでどぴゅどぴゅと吐き出せ♡
5 イケ♡また脳天まで響くようなえっぐい快樂味わいながらイケ♡
6 妾のことを満たすように、ぶち撒けよ♡
7
8 (射精、妖狐に精子を飛ばされ始める)
9 うゝおゝおゝ♡えっぐい固形精子い…♡あつつう♡
10 ふああ♡ビチャビチャと顔にも髪にも…っ♡
11 お主の精子に体全部埋め尽くされてしまうっ♡
12
13 ふゝっ♡んはあ♡ぶりゅぶりゅ吐き出し続けろっ♡もっと精子出せ♡
14 妾に精子吐き出して繁殖欲求煮え滾らせろっ♡
15 あゝくっせ♡むふう♡顔が精子で重いっ♡オス臭キツすぎっ♡
16
17 妾のオッパイも♡太ももも♡精子まみれじゃあ♡うおゝおゝ…♡
18 射精強すぎじゃ♡ぶへえ♡びちびちと精子かけ過ぎ…♡
19 触手共も大量の精子が出ているのを見て興奮して、もっと射精促しておるの♡
20 ほらブピュれ♡もっとひり出せ♡妾に全部出せ♡
21
22

1 (射精止まる)

2 カハッ…♡ようやく収まったか…？♡

3 むふっ…♡すっごい匂い…♡精子重すぎ…♡ぎっとぎとで熱い…♡

4 どれだけ洗い流しても絶対に匂いが取れないマーキングされてもうたわ…♡

5
6 すんすん…♡むはっ♡くっさぁ♡

7 ホントにぶりぶり吐き出してぜ…んぶ妾にかけおったの…♡

8 こんなに白くしおって…♡濃厚固形精子すぎじゃろ…♡

9
10 ほれ…床にもお主の精液で水たまりが出来ておる…♡

11 こりゃあ掃除が大変じゃよ…♡

12
13 カカカw こんなに精子出したんじゃ♡

14 しばらく休むんじゃな♡このぶち撒けてきた精子の妖力を得て、

15 また明日、これ以上の射精して貰うからな…♡覚悟せよ♡

16
17 (男に絡みつくと触手が蠢き続けて男が快感にビクつく)

18 ム…？またビクついて…どうしたんじゃ…って…。

19 おお…妾はこんなに射精してくれて大満足じゃったが…、

20 触手はまだ精液欲しがってるようじゃな…。元気に動いて…。

21
22 しばらく精を貪られ続けるじゃろうし…

1 お主の体の精が尽きようともし無理やりにも回復させよるからな…

2 ムフ…w 残念じゃが…触手共が満足するまで頑張るんじやぞ…。

4 (襖を閉める音)

5 (触手が蠢く音と射精の音が僅かに聴こえる)

07・『限界突破！1m越え』秘伝の滋養強壮バッグン妖力団子で暴走チンチンに！
わからせ種付けピストンで妖狐をオナホ化♡』

【正面・普通】

（昨晚の触手責めから男は解放されいるが干からびており、僅かに心配している）

よお生きておるか？

おおーおおーおおー：こりやあしこたま絞り尽くされたようじゃな…。

触手共もどこかへ行ったな：精液を飲んだ触手はごろごろ転がっておるが…。

ひいふうみい：おおっほw お主九匹にも精液飲ませたのかw

では昨日十回も射精したんじゃないぞ♡ そりゃあこんな干からびてしまうわの♡

カカ：w まだ死ぬんじゃないぞ：ちと待っておれ…。

（襦を開け、妖力団子を取りに行く）

待たせたの♡ ヘトヘトな体も一気に回復する強力なモン作ってきたぞ♡

ほれ見よ♡ 妖力と甘味を混ぜ合わせて作った滋養強壮にバッグンの

妖力団子じゃ♡ これをひとつ食べたらあっという間に元氣ハツラツじゃよ♡

ほれほれ♡起きて食べよ♡

お主のお腹もきゆるきゆる鳴ってて腹が減っておるんじゃない？♡

1 (体を起こして勢いよく団子を何個も食べ始める、少し慌てる)

2 あっこれっ、そんなに勢いよく食べたら喉を詰まらせてしまうぞ

3 ほれ水じゃ、流し込めっ

4

5 …って、はえっ!?

6 それは一つ食べただけでも劇薬なんじゃぞ!?

7 妾のようなあやかしの者が食べるモンじゃから一つだけやろうと思って…

8 そんな何個も食べたらお主、妖力を得過ぎて大変なことに…!

9

10 (男は「えっそうなの」といった表情で青ざめていく)

11 なに青ざめた顔しとるんじゃ! たわけが!

12 …おい、大丈夫か? 気分悪くなつとらんか?

13 妾が傍にいてやるからな、辛くなったら言うんじゃぞ。

14

15 【左・近い】

16 (男の暴走始まるが、妖狐はまだ気付いていない、両肩を掴まれる)

17 ムッ…どうした? 妾の肩を掴んで…。

18 肩貸して欲しいのか? 良いぞ、ゆっくり立つぞ…せつ…と…。

19 廁に行くか? 吐いたら楽になるからの…

20

21

1 【正面・近い】

2 (男が妖狐に顔を近づけてきて、そのままキスを始める)

3 んっ…なんじゃ？そないに顔を近づけて…？

4

5 ンムッ！？ んじゅるっ♡なっ…んぶう♡んりゅる…♡なにキスしてっ…♡

6 つむ、つく…じゅる、ずじゅるっ♡あ、れえ…んう、んむう…♡

7 お主…♡いきなり…♡んふ♡こんな舌絡めて…♡んぷあ…♡

8

9 (キスをされて困惑しているが満更でもない、吐息が混じって興奮した様子)

10 どうしたんじゃお主…♡

11 お主からキスをしてきたことなんて今まであったか…♡

12 具合悪くないのか…？♡んふ…♡

13 キスしながらビキビキと勃起させて…、返事をチンポでするなっ♡

14

15 カカ…w どんどん大きくしおって…♡

16 妾の腹にぐりぐりと押し付けて…まだまだ大きく…太くなって…♡

17 おお…♡天井に向かって勃起続けておるな…♡

18 んっ…♡妾の胸にもぞりぞりと擦りつけて…♡全身味わい尽くしよる…♡

19 もう妾の頭より高くマラが大きくなったな…、

20 しかしここまでは昨日までもこの大きさにはなっていたもんな…♡

21

1 ここからお主のマラはどこまで勃起するんじゃ…?♡
2 あんなに妖力を得てしまったんじゃ…♡妾にも予想がつかん♡
3 それ故に楽しみではあるんじゃ…♡
4 お主の体が壊れてしまわないか心配ではあるが…
5 ついに妾達が求めていた最強のおちんぽに成ってしまうのか楽しみなんじゃ…♡
6
7 クク…w こんなに大きくなってしまつて…♡
8 1メートルは優に超えているじゃろこれは…♡
9 んふふ…♡ ミミズのような血管がドクドクと脈を打つて…♡
10 むっわぁ…と煮え滾る性欲が熱気となって伝わって頭がクラクラするわ…♡
11
12 亀頭が天井に届きそうじゃの…♡はち切れそうな程金玉もたくましくなつて…♡
13 えつつぐい濃厚孕ませ精子ぎゆるぎゆる作つてるのわかるぞ…♡
14 えげつない勃起角度で…ぬふう♡やっべ…♡妾これに犯されたら…♡
15 どうなつてしまふんじゃ…♡ア…カカ…w
16
17 ハア♡ハア♡絶対入れたらまずいの♡
18 足開いてお主のクソデカチンポを受け入れる準備してしまふ♡
19 前貼りがぐっずぐずに濡れて、もう使い物になつてないわ♡
20 ンふう♡このチンポ、見ているだけで墮ちてしまいそうじゃ♡
21 気高き妖狐の妾であるがっ♡ハッハッ♡

1 お主になら犯されていいと…♡思えてしまうんじゃ♡
2 ほらっ♡妾のまんこにばっちゅん♡どちゅんっ♡と、
3 お主のチンポねじこんでいいぞ♡

4

5 (無理やりチンポ突っ込まれる)

6 んゝほおおゝおおおゝつつっ!?!?♡♡

7 んゝつつっ!♡ほおおおゝゝ……っ♡

8 やべやべやべ……♡チンポでつかすぎ…♡入れただけでっ♡

9 なんにも考えられんっ♡んゝふうー…♡

10 出っ張ったカリ首でお腹ごりっごりに削られる…っ♡あゝあゝっ♡

11

12 お主のようなデカチンポをたくさん作ってきたがっ♡

13 ダントツっ♡お主が一番っ♡うゝあゝあゝっ♡

14 最高のオチンポ様ですう♡これダメエ♡まんこおかしくなるっ♡

15

16 こんなにまんこ圧迫されてるのにゝっ♡

17 チンポまだまだ中に入る余裕あるっ♡チンポ長すぎじゃあ♡

18 ああ待て動くなっ♡い、今動かれるとっ…おゝおゝおゝっ!♡

19

20 (ピストン始める、速度ゆっくり突かれて、喘ぎやや汚め)

21 あゝっ♡おゝっ♡お主っ♡無理やり奥に入れ、るなあっ♡

1 チンポにまんこ引っ張られるう♡まんこあつい♡あついあつい♡
2 お主専用まんこにされてるっ♡ふああゝあゝっ♡ひっ♡ひっ♡んおゝっ♡
3 妾おかしくなってしまううゝ♡愛液撒き散らしてしまうっ♡

4
5 あゝあゝあゝ♡ふっ♡ふっ♡おおおゝおゝゝっ♡

6 はっ♡はあーっ♡無理じゃあこんなのっ♡

7 おっきすぎるチンポっ♡無理やりマンコに突っ込んで♡んんゝっ♡

8 金玉からあつつあつの精子妾のマンコに全部流し込もうとしてのっ♡

9 全部わかるっ♡うゝおゝ♡んっほおおおゝおゝ♡

10

11 妾がお主の事を手玉にして精を搾り取ろうとしてたのにっ♡

12 これじゃ♡妾がお主の性奴隷じゃあっ♡

13 まんこぐりぐり押しつぶしてっ♡性欲処理のことしか考えてない

14 獣みたいな交尾っ♡ハッハッ♡うおおゝおおゝ♡

15 ふうゝうゝ♡うっおゝ♡んうゝふうゝんゝうゝ♡

16

17 壊されるとわかっておるのにっ♡

18 もっと突いて欲しいっ♡もっと奥にチンポぶち込んで欲しいっ♡

19 妾のこと籠絡してくれっ♡んごおお♡おっゝおおゝおゝ♡

20 おまんこゾクゾク止まんっ♡おおっゝんうっおゝっゝっ♡ほおおおっ♡

21

1 こんな、イケメンチンポ様っ♡雌殺しチンポ様あ♡は、はっ♡はっ♡
2 あ、イゝび♡太いい♡このデッカイちんぽでゆっくり奥突かれてっ♡
3 どんどんまんこお主のちんぽに埋め尽くされてる♡

4
5 気持ちいい♡弱いトコ全部犯されるの気持ちいい♡

6 っんっ♡おおおゝっんっ♡んんおおっ♡お主もたくさん気持ち良くなってくれ♡
7 はっはっはっ♡誠心誠意お主の従順なオナホになるからっ♡

8 もっと動いておくれっ♡妾のことぶち壊してっ♡

9
10 (ピストン早くなる、喘ぎ声汚め)

11 ふぐおおゝっ！♡ふっ♡ふうっ♡竿、なが、長すぎっ♡

12 んうっおおっ♡おっ、んんゝっ、っんっ♡おっ、おおおおゝお！♡

13 たくましくてっ♡あ、うおゝおっ♡かっこいいっ♡

14 雄たる象徴の激強チンポっ♡んむう♡子宮潰されるっ♡なかつ♡

15 無理やり排卵させるように奥潰されておるう♡うぐああゝはっ♡

16
17 おっ、おっ、おっ、おおお、ほおおおゝっ！♡

18 こんなに凄い快樂お互い知ってしまったらっ♡はぐっ♡

19 四六時中交尾のことしか考えられなくなってしまうっ♡

20 お主のチンポもどんどんボコボコと膨らんで

21 ダマみたいに固まった精液を射精しようとしてるのがわかるぞっ♡んんんっ♡

- 1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
- がっあっ♡はっ♡あゝあんっ♡
こんな即堕ちしてしまいそうなチンポっ♡作ったら終わるって分かっ取るのにな♡
やりすぎてしまうっ♡邪よこしまな願いお主にぶつけてっ♡
お主の人生狂わせてすまんっ♡
妾も一緒にイキ狂うから許しておくれっ♡おゝっごおっ♡
絶倫おチンポ様で妾の淫猥発情まんこ滅茶苦茶に犯してくれえっ♡
(ピストン射精前のラストスパート、喘ぎ声汚め、息がすごく荒い)
ひぐうううゝゝゝ♡あああっ、うおゝっ♡
んぐううおおおおゝゝゝ！♡♡ふんゝゝっ♡
お腹ぼっこんぼっこん浮かされてるっ♡無理無理無理っ♡
ぬおおゝっ♡おゝおゝおおっ♡あっゝんっ、んんんんゝ♡
一突きされる度にイってるのにな♡こんなピストンされたらっ♡
ああっ♡イキ死んじゃうっ♡ぐおおおんぐう♡やべやべやべ…♡
ぐっ、おっ、おゝおおお…ぎもぢ、いゝいい♡
脳ミソ溶けるっ♡っはあっ♡いぐっ♡いぐっ♡でっかいのくるっ♡
射精しろっ♡妾のまんこで特大濃厚射精しろっ♡出せっ♡
バッキバキのぶっといチンポでぶっ濃いこってり精子全部出せっ♡

1 っがあああゝゝっっ♡ハアッ♡ハアッ♡んぐうああっ♡
2 人間やめちゃう本気射精でイグっ♡どぷどぷヒリ出せっ♡

3 イグッ♡イグイグイグ♡ほおゝ♡あああゝあゝ♡イッグ♡

4

5 (射精)

6 おおおおおおゝおおおゝおおお！！♡♡

7 んおおおっ、あっ、んおおおっ、ほおおおお……！はっ……！はっ……！♡

8 射精長すぎじゃ……！♡子宮に入りきらんじやろ……！♡

9 ふぐうおっ♡どびゅどびゅ出てっ……♡精子どんどん溢れて……♡

10

11 んぐう♡射精しながら腰動かすなっ♡今、すごい敏感なんじゃからっ♡

12 膣ひだ全部精子塗りこまれるっ♡ほおおゝああっ♡

13 ぐうっ♡お主のチンポに屈服するの気持ち良すぎじゃあっ♡

14 ほっ♡おおっ……♡もっとイグっ……♡イキまくりまんこでチンポ絞り上げるっ♡

15 はあっ♡ふぐううんっく♡んんっぐ♡

16

17 (射精終わる)

18 ふう……ふう……♡射精止まったか……？

19 ふっ……♡頭ばちばちしとるわ……♡こんなに何度もいったのは久しぶりじゃ……♡

20

21 お主のおちんぽ様……妾のまんこの中でずっと射精しておったな……♡

1 金玉から重った精子ズルズルぶっこいていたのに…♡
2 腰ばっちゅんばちゅんと打ち付けおって…♡
3 溢れた精子が床に溜まって水たまりみたいになっておるぞ…♡
4
5 はあ…、こんなでっかいマラよく突っ込めたな…♡
6 腹ん中変になりそうじゃから抜いておくれ…♡
7
8 っておい…お主…目ギラつかせて…なんじゃ…？♡
9
10 (まんこの中でチンポが更に大きくなり始める)
11 ふお おおっ！！？♡おっ…ごっ…♡
12 お主…♡んぐう♡中…でえ♡どんどんチンポ大きくしよって♡
13 無理じゃ無理じゃ無理じゃ♡これ以上でかくしたら♡壊れるっ♡
14 ああああゝっ♡大きいっ♡ふっ♡ふうゝーっ♡
15 無理じゃってえ♡イキ死んでしまうっ♡ふぐうあっ♡あぐっ♡
16 あやかしの妾が人間にチンポで殺されてしまうっ♡
17
18 妾の中ぼっこぼこにされて…♡
19 1ミリも隙間なくチンポでまんこ征服されてもうた…♡
20 まずいい…♡逃げないといけないのに…♡
21 お主に征服されたくて…体が受け入れ準備を始めてもうてる…♡

1 破滅願望マシマシになって…

2 イキ殺されるの期待して愛液びっちゃびちゃにってしまうんじゃ…♡

3 はっ…はっ…♡う、動いて…おくれ…♡

4

5 (ピストン始まる、やや早い、喘ぎ声はかなり既に汚め)

6 うお っっっ！♡んっ♡ほっ、おおお お ！！♡

7 ごれっ♡これダメ♡まんこ焼けちゃう♡体の中チンポに押し潰されるっ♡

8 まんこっ♡まんこ壊れるっ♡脳ミソもっ♡体もっ♡全部壊されるっ♡

9

10 ん 〴〵おお 〴〵♡おっ♡おおっ♡おっごっ♡

11 鬼みたいな腰振り♡イグッ♡イグイグイグ♡イツツツグッ！♡

12 ハアッ♡んっぎゅ♡ん んんっふっ♡

13 さっぎからイギまくってるのに♡追いイキ止まんない っ♡

14

15 ひっ♡ひっ♡ひっ♡

16 バンッバンッて腰打ち付けられるとっ♡脳天まで快感が一気に走って♡

17 強制排卵させられてしまうっ♡あ あ っっ♡

18

19 お主の金玉さっきの射精で空っぽにしたのにっ♡

20 もう地面に着くぐらいでっぶり金玉大きくして精子溜め込んでおるっ♡

21 妾のまんこにもっと注ぎ込みたいか？♡

1 良いぞ♡子宮ぶっ潰してっ♡蹂躪してっ♡肉便器にしておくれっ♡
2 強い雄様のでっかいチンポのイライラ鎮めるためだけにセックスっ♡
3 どくどく煮え滾る性欲をビンツビンに伝わってくるっ♡
4
5 おごごっ♡おゝっおゝっおおんっ!?♡ほおおゝゝっ♡
6 ゴッゴゴボに精子でチンポあつつくしてるっ♡
7 ダマみたいな激重精子コネ上げてえ♡チンポぶっとくしてっ♡
8
9 はあああゝあっ♡んゝんゝ♡んひいっ♡
10 おおゝっ♡おゝお主っ♡
11 妾の愛液でセックスしながらチンポ大きくしてないかっ!?♡
12
13 ほおおおおゝおゝおっっ♡やっべ♡んぐあっ♡
14 最強ケダモノちんぽに犯されるの良すぎるうっ♡んおおおおっ!♡
15 オナホまんこにどちゅどちゅ極太チンポを突っ込んでもらえるの好きですう♡
16 へっ♡へっ♡んおゝっぎゅ♡ふっ♡ふっ♡ふーっ♡
17 そのまま鈴口まで精子どっくんどっくん昇らせて…♡
18 がっぱあと開いた排出口から固形精子をぶっ…りゅゝゝゝうっ♡って
19 コキ出してまんこをくそ重くしてくれっ♡
20 何分も続く長い長い射精で気持ち良くなっておくれっ♡
21

- 1 はあっ♡
- 2 妾っ♡もう無理ッ♡イキすぎておかしくなるっ♡
- 3 射精してくれっ♡お願いじゃあ♡
- 4 まんこの奥でびゅうびゅう吐き出しておくれっ♡
- 5
- 6 はあっ♡はっ♡はああっぐっ♡
- 7 杭打ちでっ♡どっちゅどっちゅって突かれるのっ♡
- 8 マゾメスに効くっ♡
- 9
- 10 (息を凄く荒くしながら喘ぎまくる)
- 11 あっ、あっ、あっ、はあっ♡ふぐう♡おおっ、おおおっ♡ふおおおっ♡
- 12 種付けピストンでまんこの中ぐっちゃぐちゃあ♡はぎいい♡
- 13 人の事など気にせずガン突きされるのやっべえ♡ふごおおお♡
- 14
- 15 妾のまんこお主のちんぽにマゾ糸絡ませてっ♡
- 16 イキ潮ぶち撒けまくってしまうんじゃ♡すまんっ♡すまんのおお主♡
- 17 お主のチンポにハメ潰されるの好きなんじゃあ♡
- 18
- 19 あっ♡あ あゝっ♡チンポ硬いい♡
- 20 激硬チンポで奥ぶっ叩かれる度に目の前が真っ白になって♡おお おっ♡
- 21 はっ♡はっ♡なんにも考えられんっ♡

1
2 んうっ♡んお、おっ、おごっ♡おおゝおゝゝっ♡
3 フッ、フーッ♡もうっダメッ、イグッ♡イグッ♡絶対イグッ♡
4
5 ああああ！ふーっ！ふーっ！♡お主のちんぽおっ！♡
6 ボコボコと膨らんできてる♡ほおうっ♡ほおおゝおおっ！♡
7 射精したいんじゃない！♡ほおお！♡おっおっおっ！♡おおおおおおっ♡
8 出してっ♡出ひてくれっ♡子宮に全部注ぎ込んでくれえ♡
9
10 お、おお、おおおゝ♡んんっ♡無理じゃ♡
11 ぶっ濃い精子出してくれっ♡あっあっ、あっあゝああっ！♡
12 さっきのより濃すぎて即孕みするような精子ぶちまけてえゝっ♡
13 イクッ♡イクイクイクイク♡イツッグッ♡♡
14
15 (射精)
16 ほ、おゝおおおゝおゝおゝゝゝゝっ♡
17 イグ、イグイグイグっ♡ずっとイっでるっ♡イギ狂うゝ♡
18 はあっ♡出て、出てるっ♡どっぐんどっぐんって♡
19 精子熱過ぎっ♡多すぎるっ♡お腹きっつい♡
20 んゝお…ほ、おゝおゝゝ……っ♡
21

- 1 んうおおっ…♡精子でお腹どんどん膨れておるっ♡
- 2 あ、あああ…はああ…っ♡ザコまんこ満たされていく…っ♡
- 3 おおゝっんっ♡ほっ、ほおっ♡ほおおおゝお…っ♡
- 4 子宮ぎもちいいゝ♡はっはっはっ♡ううゝうっ♡
- 5 精子のお恵みっ♡ふっふっ♡ありがとうございますっ♡
- 6
- 7 (まんこからチンポを引き抜こうとする)
- 8 はあっ!?!♡お主なんでっ♡そんなオチンポ抜こうとしてるんじゃ!?!♡
- 9 お主今精液出してる途中じゃろっ♡
- 10 ほおおうゝっ♡んゝんゝんっ♡カリ首っ♡引っかかって全然抜けてないっ♡
- 11 抜くだけでもまたイカされてしまうっ♡強すぎるぞお主のチンポっ♡
- 12 もゝほおおおおっ♡ああああ♡
- 13
- 14 (チンポをずりゅんとまんこから抜くが、そのまま精液ぶっかける)
- 15 ぶあっ♡あついっ♡お主の精子まだ出てるっ♡
- 16 はっはっはっ♡はあゝあっ♡
- 17 勢いすっご♡一瞬で精子まみれじゃ妾っ♡特濃精子でべっちやべちやじゃ♡
- 18
- 19 ふああ♡もうっ♡前が見えんっ♡
- 20 出しても出してもどんどん追加で精子をぶっかけられるっ♡
- 21 こんなくっさい精液っ♡おぶっ♡べっ、もう♡

1 まんこにもたくさん射精したのに、まだこんなに出るのかっ♡

2 金玉ばっくんばっくん動いてびゅううう…♡びゆるるる…って出しておる♡

3
4 (射精止まる、息切れ気味)

5 はあ…はあ…♡ふー…っ♡んっ…♡ふう…っ♡はあ…っ♡

6 はっ…やっとなまったか…♡

7 お主、出し過ぎじゃあ♡凄まじい量の精子を妾の中にも外にも出しおって…♡

8 それにしてもこんな量…どぶどぶと注ぎ込まれたんじゃな…♡

9 妖力を込めた飯を作ればお主はもう無限に射精できるんじゃないか…？♡

10
11 (子宮に溜まった精液が多すぎて逆流しそうになっている)

12 ム…？ なんだか少しお腹の辺り苦しいの…？

13 んっふ…♡ ぐつりぐつりと…なにかが垂れて…？

14 あっ…！ 精液、まんこから漏れそうになって…！

15 待っ、待っておくれっ♡妾、そんな精液でお漏らしなどしたくないぞっ♡

16 ふぐう♡ じゃ、じゃがっ♡ 我慢できそうにないっ♡

17 はっ、はあっ♡こんなのゲップを聴かれるより恥ずかしいっ♡

18 あっあっあっ♡出るっ♡出る出る♡漏れるっ…♡

19
20 (まんこから精液を逆流噴射、絶頂に襲われる)

21 おおおおおっ♡♡ うう ぅあっ♡出るう♡

1 子宮に注ぎ込まれた精液全部溢れてしまう♡

2 精液溢れる♡ こんな音出しながら漏らすの♡恥ずっ…♡

4 はあ♡はあ♡まだ出る♡妾が射精しているみたいに出る♡ふぐう♡

5 ほおお♡おお♡ふぎゅう、っふ♡

6 全然止まらない♡ お主の孕ませ精液♡ 妾から漏れ出るの止まらない♡

7 あっ、あっ、んん♡ ふぎゅう♡お腹の中ずっとあつい♡

8 ぶびぶ精子出すの気持ち良すぎるんじゃあ♡はっ、はっ、んほおお♡

10 (逆流止まる、妖狐息も絶え絶えだが、男はチンポをまた勃起し始める)

11 おっ、ほっ…♡ はあー…♡ ふっ、ふっ、ほ…♡

12 はー…♡はー…♡ やっと精子出るの…止まった…♡

13 こんな経験したの初めてじゃよ…♡

14 妾の中にこんなに出していたのか…♡ほおお…♡

15 出す時の快感強すぎて…カカ…w足、震えてるわ…♡

17 しばらく…動けん…♡

18 こんな淫楽な体験、今まで味わえたことはないぞ…♡

19 お主もたくさん射精して満足できたじゃろ？♡

21 ……へ、お主、まだ大きくなってないか…？

1 ま、待てっ♡妾はもう無理じゃ♡十分イったんじゃ♡
2 お主の凶悪デカチンで散々オナホにされるのは今日はもう体がもたん♡
3
4 ハッ、ハッ、ハッ♡
5 そんなに大きいの…妾に入れられたら…
6 オナホとして自覚して…♡
7 何千年も生きた妾が無様な性処理ペツトになるんじゃ…♡
8 それもう永久^{とわ}に……♡
9 ムラついたら勝手にチンポぶち込まれて射精される毎日…♡
10
11 ふーっ♡ふーっ♡これっ…また発情してるっ…♡
12 まんこの疼きが全然収まらん♡
13 体はもうイき狂ったのに、もっとイかせてくれと求めている♡
14
15 お主の事を最初は手玉にして…妖力の糧にしようとしてたんじゃが…♡
16 淫紋も刻んで…人里には戻れぬ程チンポを大きくして…♡
17
18 はっ、はっ、はーっ♡ しかし今は妾がお主のオナホ…っ♡ カカ…w
19
20 んふー♡ふっ、ふっ♡はあっ、んふう♡
21 その…凶悪絶倫クソデカチンチン…♡

1 入れて……ください……♡

2
3
4 (最後にオホ声喘ぎが少し聴こえて幕引き)

5 うお お お おおっ♡ あああっ♡ んお お お っ♡♡

6
7
8
9 おまけ・御子柴泉様フリートーク
10
11

12 三分程自由に作品について語っていただければと思います。